

志免町まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン・総合戦略

～子育て世代に選ばれるまちへ～



## 志免町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の策定にあたって



国においては、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の一局集中を是正し、それぞれの地域で住みよい住環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、まち・ひと・しごと創生法を施行し、その推進を図っているところです。

こうした中、各自治体においては、創生法に基づき国及び福岡県が策定した、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しながら、平成27年度内に「地方人口ビジョン」及び「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとしており、本町においても、町の実情を踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、このたび「志免町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定したところです。

本町は、福岡市のベッドタウンとして、特に20代・30代の子育て世代の方を中心に着実に人口が増え続けており、本戦略では、今後も「子育て世代に選ばれるまち」をコンセプトに子育て支援環境を充実し、子どもを生き育てやすい環境を向上させる取り組みを重点的に進めてまいります。

また、今後の地方創生を実現していくため、新たな雇用の創出や創業支援、地域資源を活かした産業の創出など「稼ぐ力」を高め、将来にわたって持続可能なまちづくりをめざします。

この地方創生は、第一義的には「人口減少克服による地域の活性化」が命題にございますが、最も大事なことは、「それぞれの地域が自由な発想で自立をめざす」ということであろうかと考えております。

総合戦略に盛り込まれた施策は、行政だけでは実現できないものと考えております。この総合戦略を皆さまと一緒に実現するため、引き続き、お力添えをいただけるようお願い申し上げます。

最後になりますが、本戦略の策定にあたり貴重なご意見やご指導いただきました総合戦略策定委員の皆さまをはじめ、町民意識調査等にご協力いただきました多くの町民の皆さま、並びに関係各位に心からお礼と感謝を申し上げます。

平成28年3月

志免町長 世利 良末

# - 目次 -

## I. 策定趣旨

---

1. 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の示す方向 .....	1
2. 志免町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定趣旨 .....	2

## II 志免町の現状分析

---

1. 人口動向と推移 .....	3
2. アンケート調査からみた傾向分析 .....	7
3. 人口の将来展望 .....	11

## III. 総合戦略の基本方針

---

1. 総合戦略のめざす方向 .....	13
2. 総合戦略の構成（チャレンジ戦略と基本戦略の設定） .....	14
3. 戦略施策体系 .....	15

## IV. 戦略施策

---

1. チャレンジ戦略 .....	16
2. 基本戦略 .....	27

## 資料編

---

1. 志免町まち・ひと・しごと総合戦略策定委員会名簿・策定経過 .....	39
2. 志免町の人口の現状分析（志免町人口ビジョン） .....	40
3. 町外者アンケート調査結果 .....	44
4. 用語解説 .....	51

# I 策定趣旨

## 1 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の示す方向

国においては、本格的な人口減少社会と地域経済の縮小に対応するための対策として、2060年に1億人程度の人口を確保する中長期展望を提示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と今後5か年で取り組む施策「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、全国の自治体に示しました。

### (1) 国の取り組みの視点と政策5原則

#### ① 3つの基本的視点

人口減少克服・地方創生のためには、3つの基本的視点から取り組むことが重要とされています。

- 「東京一極集中」の是正
- 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- 地域の特性に即した地域課題の解決

#### ② まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立することで、地方へ新たな人の流れを生み出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻します。

- 地域経済の活性化、産業の高付加価値等による「しごとの創生」
- 地方就労の促進や移住定住促進等による「ひとの創生」
- 安心できる暮らしの確保や都市のコンパクト化、広域連携等による「まちの創生」

#### ③ 戦略の取り組み姿勢（「まち・ひと・しごと創生」政策5原則）

人口減少の克服と地方創生の実現のため、次の5つの政策原則に基づき、各種施策を展開します。

##### ① 自立性

構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者等の自立につなげる。

##### ② 将来性

地方が自主的かつ主体的に、前向きに取り組むことを支援する。

##### ③ 地域性

各地域の実態に合った施策を支援することとし、各地域は客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。

##### ④ 直接性

限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。住民代表・産官学金労の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。

##### ⑤ 結果重視

明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、効果検証と必要な改善等を行う。

## 2 志免町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定趣旨

志免町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、「志免町人口ビジョン」における分析結果や人口の将来展望を踏まえ、本町の「まち・ひと・しごと創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策、事業及び数値目標をまとめたものです。

### （１）総合戦略の期間

---

総合戦略では、人口の将来展望を達成するため、平成 27（2015）年度から 31（2019）年度までの 5 年間の目標や施策の方向性、具体的な事業、数値目標を設定します。

### （２）総合戦略の政策目標の設定と評価・管理

---

総合戦略では、戦略方向ごとに目標実現に向け講ずべき施策の基本方向と具体的な施策を記載し、施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標 KPI : Key Performance Indicators）を設定し、達成状況を随時評価・検証を行う P D C A サイクルを運用します。

また、戦略内容については、社会変化や国・県の動向等も踏まえ必要に応じて改善や追加、変更等の見直しを行います。

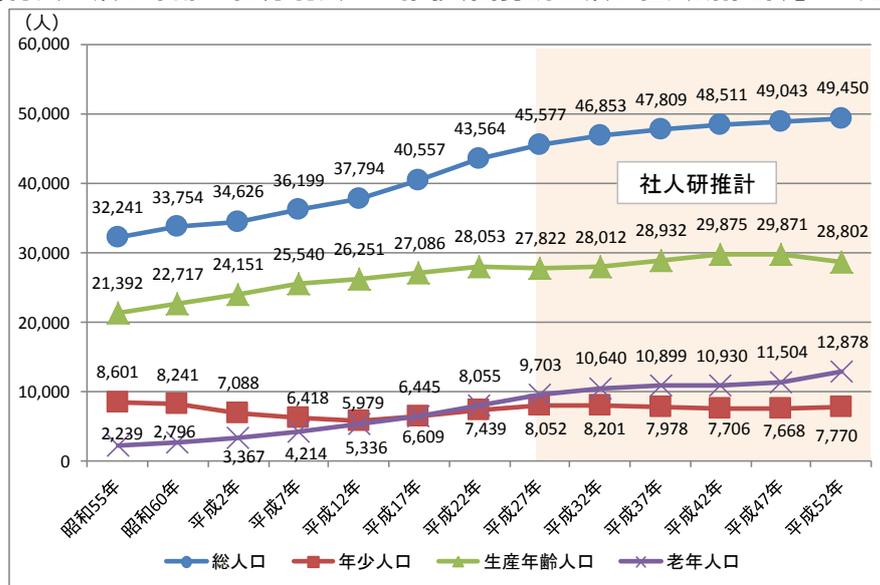
## II 志免町の現状分析

### 1 人口動向と推移

#### (1) 総人口・人口構成

- 本町の人口は、平成 22（2010）年国勢調査では 43,564 人となり、微増傾向が続いています。国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研という）の将来人口の推計では、平成 27（2015）年以降も微増傾向が続くと予測されています。
- 年齢構成においては、生産年齢人口、年少人口は横ばいで推移する一方、老年人口の増加が続き、将来推計では平成 52 年には人口比率 26.0%まで上昇すると予測されています。
- 小学校区別にみると、西小学校区の人口が増加傾向にあるのに対し、東、南小学校区の人口は微減傾向となっており、地区による人口動向に格差がみられます。

【総人口及び年齢 3 区分別人口の推移(国勢調査及び社人研推計)】 ※年齢 3 区分は年齢不詳人口除く



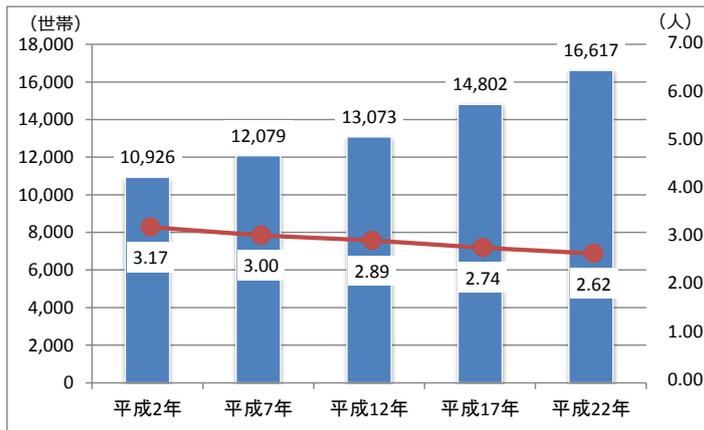
【地区別人口の推移(住民基本台帳)】



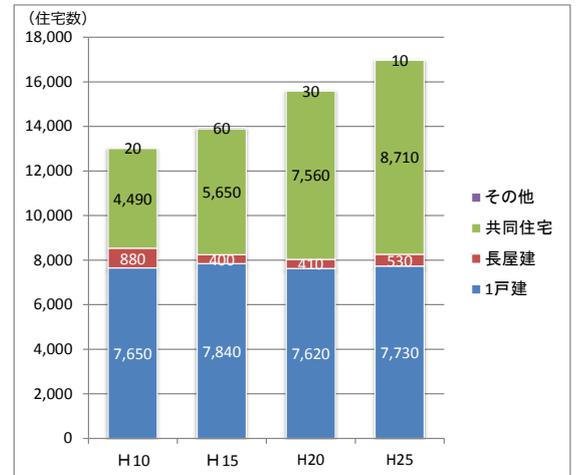
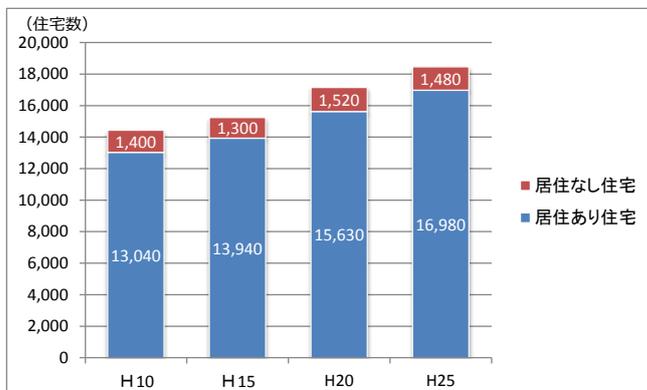
## (2) 世帯・住まい

- 世帯数は年々増加している一方、世帯当たりの人数は減少しており、核家族化が進んでいます。
- 高齢者単身世帯の増加が顕著になっており、将来における空き家の増加が懸念されます。
- 本町の住宅数は世帯増加にあわせ増加しているが、住宅の建て方別にみると共同住宅の増加が顕著であり、一戸建ては微増となっています。共同住宅数を建物の階数別にみると 6 階以上の住宅のみが増加している状況がみられます。

### 【世帯数・世帯当たりの人員数の推移(国勢調査)】



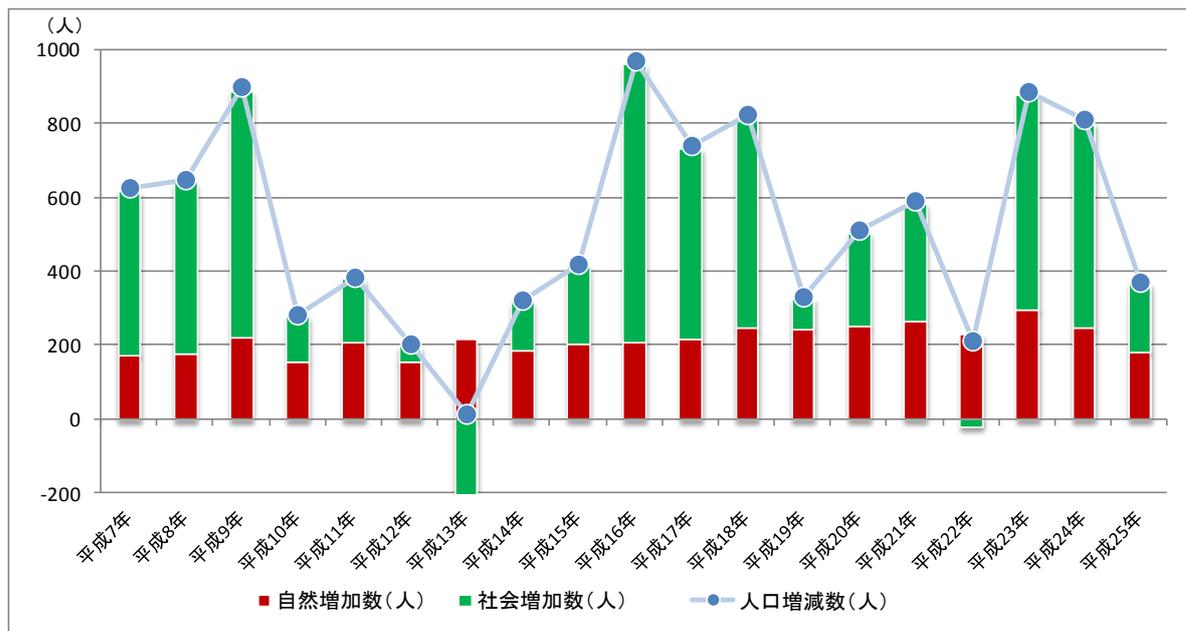
### 【住宅数の推移／住宅建て方別住宅数の推移(住宅・土地統計調査)】



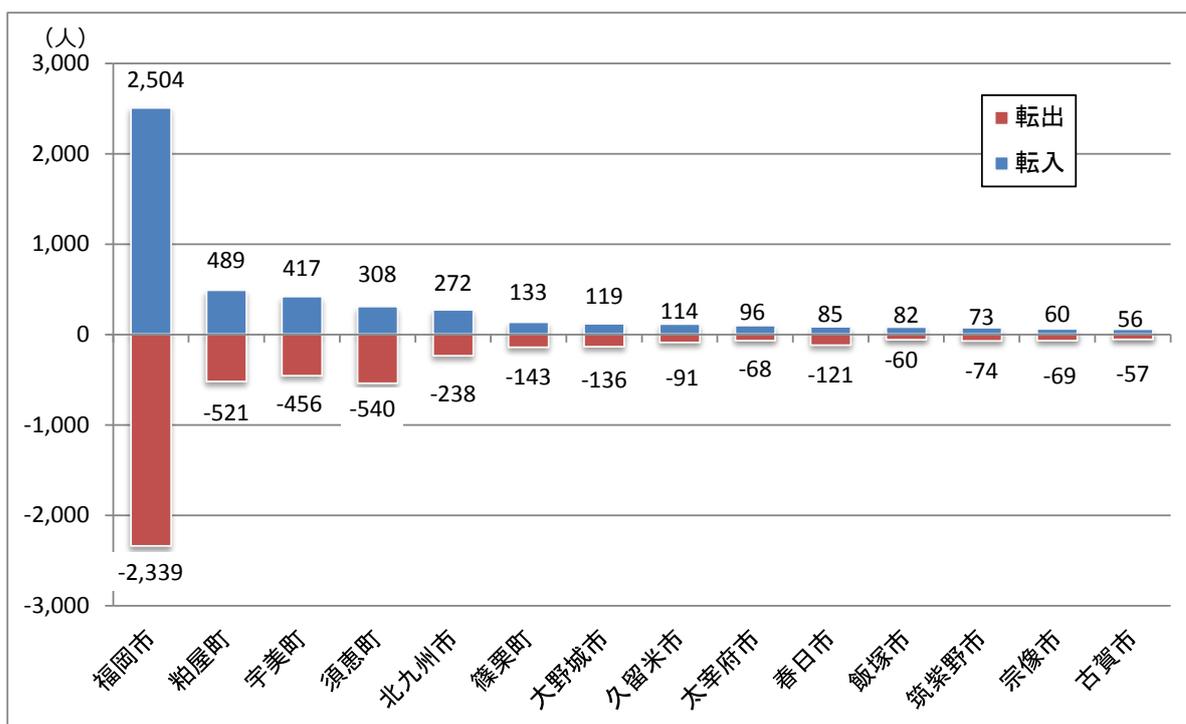
### (3) 人口動態

- 自然動態は出生数が死亡数を上回る自然増を維持しています。
- 社会動態は 20 代後半から 30 代の転入数が多くなっています。転入転出先の自治体をみると、福岡市から転入転出がともに最も多く、転入超過となっています。次いで転入数の多い粕屋町、宇美町、須恵町の郡内 3 町については転出超過となっています。

【人口動態(自然増減・社会増減)の推移(総務省住民基本台帳人口動態調査)】



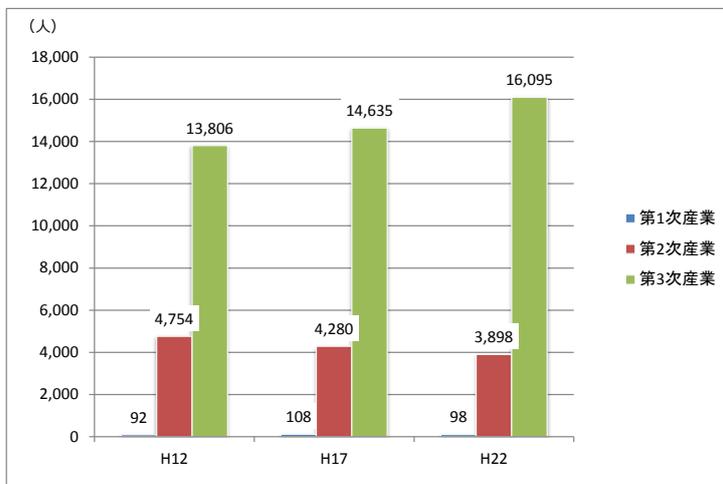
【県内自治体別転入転出数(上位)(人口動態調査) ※H24-26年の合算】



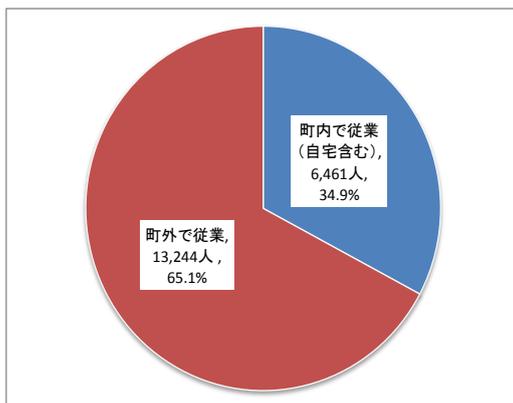
### (3) 就業人口

- 本町の実業従業者数は平成 22（2010）年国勢調査では 20,091 人となり、微増傾向で推移しています。産業 3 部門別にみると第 3 次産業の人口が微増しており、第 1 次・第 2 次産業は微減しています。
- 平成 22（2010）年の実業従業者数を産業大分類でみると「卸売業・小売業」の実業従業者数が高く、男女ともに最も実業従業者数の多い業種となっています。
- 本町に常住する実業従業者のうち、自宅を含む町内に従業する人は 6,461 人（34.9%）であり、13,244 人（65.1%）が町外に通勤し従業しています。町外の実業従業者の 64.6%は福岡市となっており、次いで粕屋町、宇美町となっています。

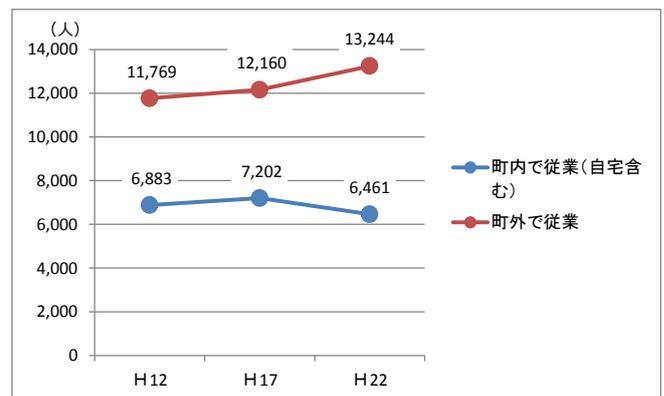
【産業3部門別実業従業者人口の推移(国勢調査)】



【実業従業者数の従業地(H22 国勢調査)】



【実業従業者数の従業地の推移(国勢調査)】



## 2 アンケート調査からみた傾向分析

### (1) 町民意識調査からみた特性分析

平成 27 (2015) 年に実施した町民意識調査からみた、町民の定住に対する意向は以下のような傾向となっています。

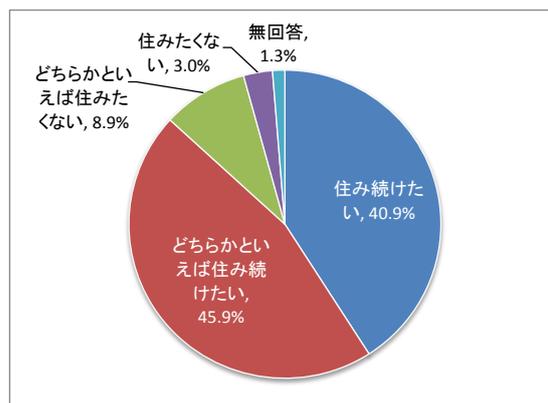
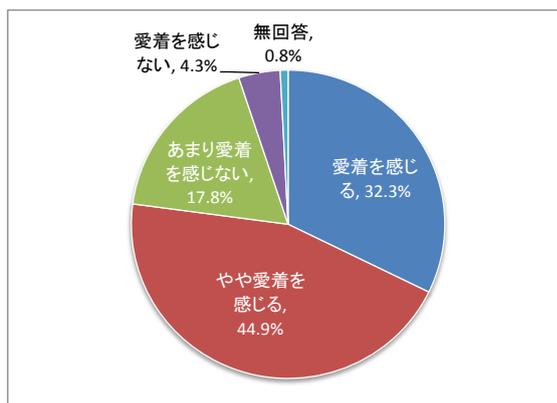
#### 【調査概要】

・平成 27 年 5 月～6 月に志免町にお住まいの 18 歳以上の方 2,000 人を対象に実施 (回収数 : 865 件)

#### ① 町への愛着・今後の居留意向

- 本町に「愛着を感じる」「やや愛着を感じる」と答えた人の割合が約 77%となっています。また、今後も「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人の割合が約 86%と高い結果となっています。

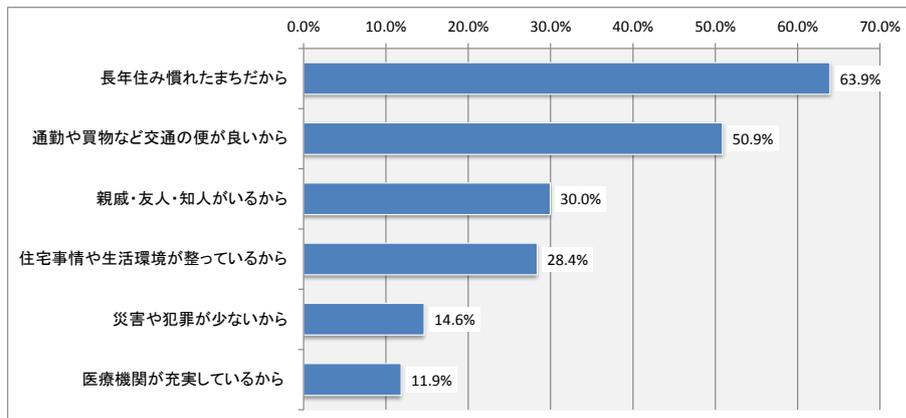
【自分のまち・住み慣れたまちとしての愛着をどの程度感じますか】 【あなたは、これからも志免町に住み続けたいと思いますか】



#### ② 町に住み続けたい理由、住み続けたくない理由

- 志免町に住み続けたい人の理由は「長年住み慣れたまちだから」、「通勤や買い物など交通の便が良いから」が高い傾向となっています。一方、志免町に住みたくない人の理由は、「まちに魅力を感じないから」、「通勤や買い物など交通が不便だから」が高い傾向となっています。

【まちに住み続けたい理由は(上位回答項目) ※「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた方】

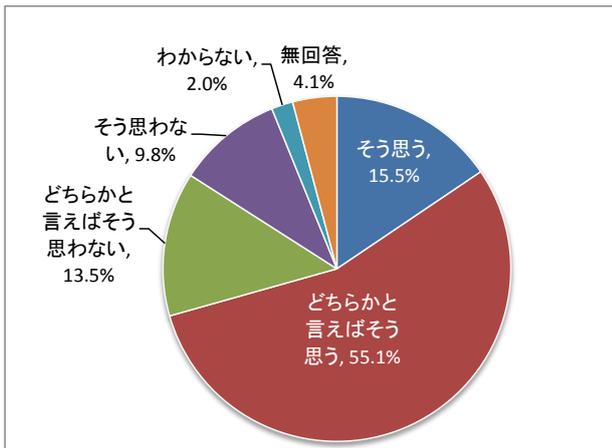


### ③ 子育てしやすいまちへの意向

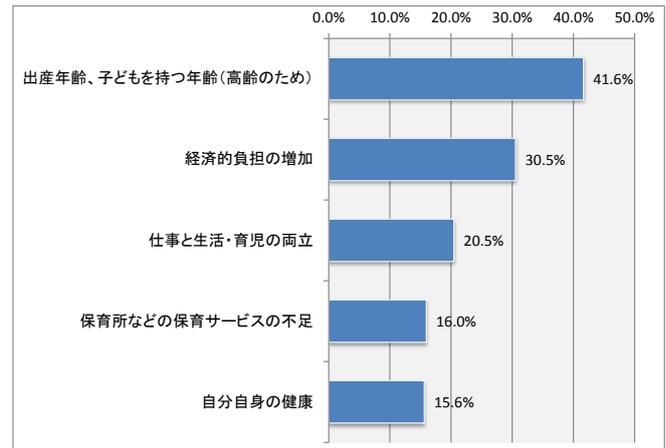
- 18歳未満の子どもがいる人のうち、子どもを育てやすいまちだと「思う」「どちらかといえば思う」と答えた人の割合は約70%と高い結果となっています。
- 子どもを（さらに）もつ場合の不安については出産年齢を除き、「経済的負担の増加」「仕事と生活・育児の両立」「保育所などの保育サービスの不足」等と回答する傾向が高くなっています。

#### 【子どもを育てやすいまちだと思いますか

※18歳未満の子どもがいる方】



#### 【将来、子どもを（さらに）持つと考えた時に、どんな不安がありますか（もしくは子どもを（さらに）持つつもりがない理由）】



## (2) 町外者アンケート調査からみた定住意向分析

福岡県在住 20 歳以上の町外者の男女を対象としたインターネット調査からみた、町外者の志免町への定住意向は以下のような傾向となっています。

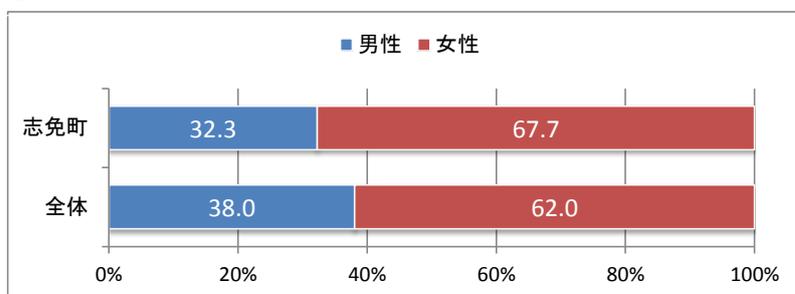
### 【調査概要】

・福岡県在住 20 歳以上の町外者を対象にしたインターネット調査（平成 27 年 11 月実施。1 次調査：傾向調査／10,000 サンプル、2 次調査：ニーズ調査／500 サンプル）

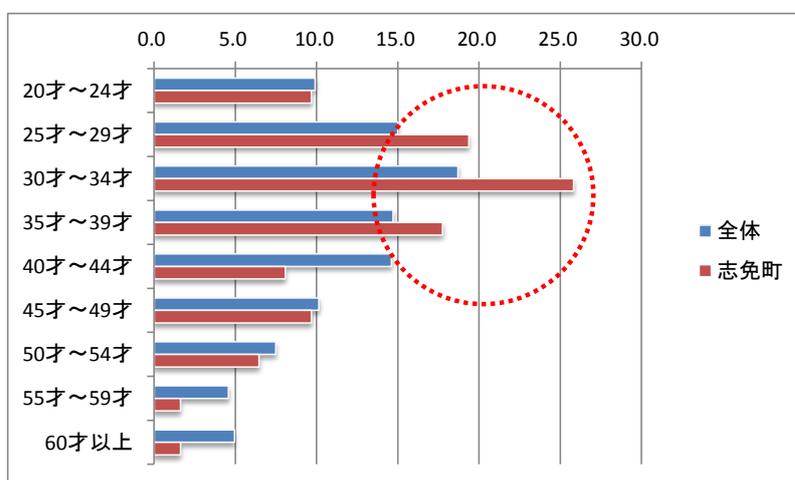
### ① 志免町への移住意向の強い性別・年代

- 本町への移住意向は「女性」「25 歳～39 歳」「既婚者」「未就学児がいる」層で特に高い傾向となっています。

【今後移住を考えている回答者の性別比較：1 次調査（全体回答と志免町への移住意向をもつ回答との比較）】



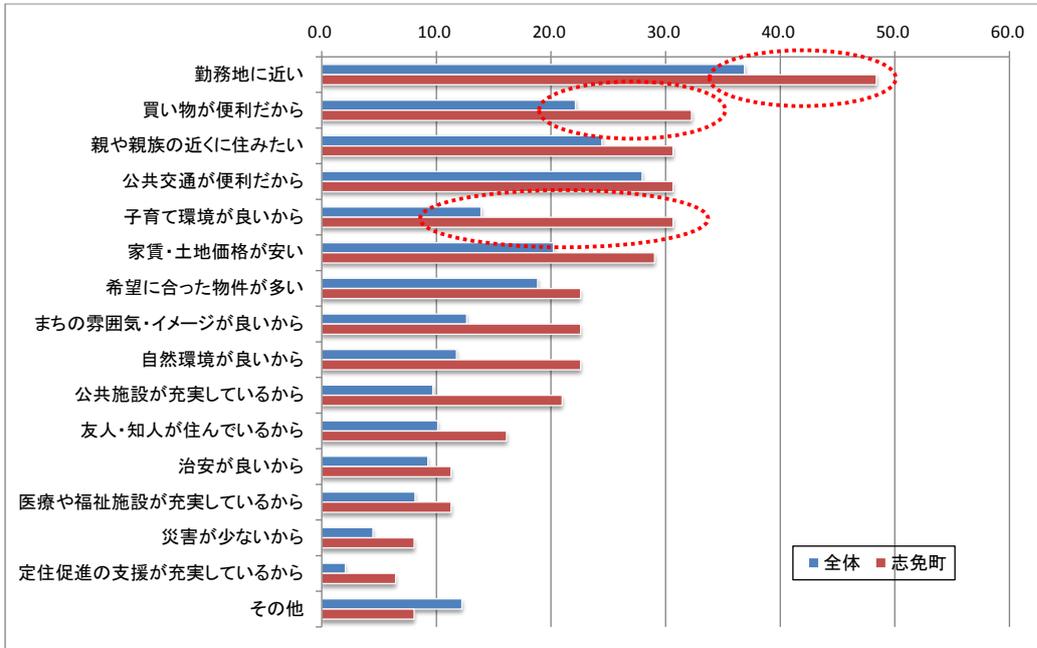
【今後移住を考えている回答者の年代比較：1 次調査（全体回答と志免町への移住意向をもつ回答との比較）】



## ② 移住の目的・理由

- 志免町へ移住を考えている人の移住する目的・理由は「勤務地が近い」「買い物が便利」「子育て環境が良い」が全体の回答と比較して高く、町の移住意向の理由として高いことがわかります。

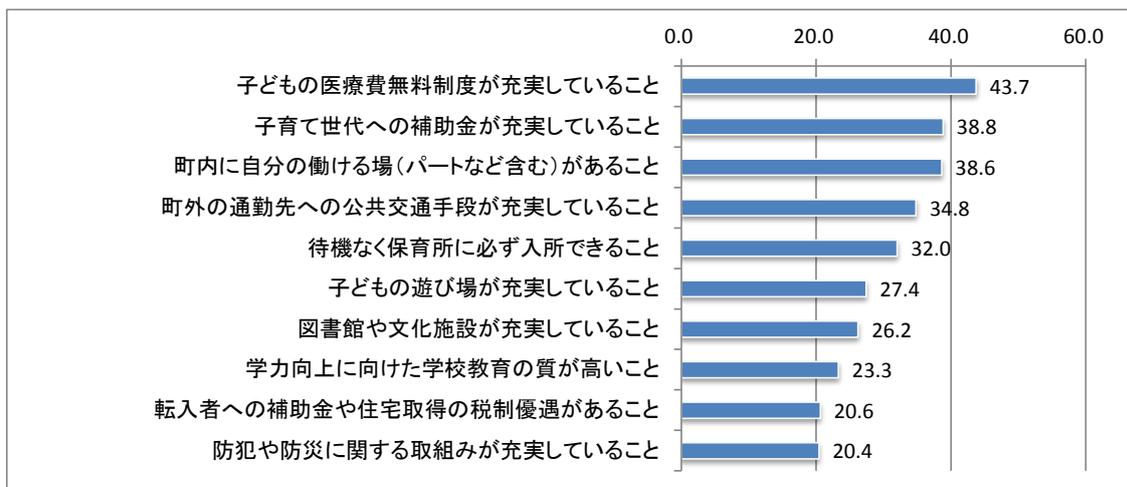
【移住を考えている人の移住の目的・理由：1次調査(全体回答と志免町への移住意向をもつ回答との比較)】



## ③ 志免町を引越し先として選ぶ条件として、重視するもの

- 志免町を引越し先として選ぶ条件として、重視するものは、「子育て支援に対する経済支援」「就労環境の充実」に関する項目が高くなっています。

【志免町を引越し先として選ぶ条件として、重視するもの：2次調査】



### 3 人口の将来展望

#### (1) 人口の将来展望に向けた方向

##### ① 福岡市のベッドタウンとしての定住化を継続し、人口の安定を図る

○これまでの福岡市を通勤圏としたベッドタウンとしての特性を今後も継続し、定住環境の充実による安定した人口の確保をめざしていきます。

##### ② 将来の社会増については、飽和する住宅供給をふまえた将来人口を展望する

- 社人研の将来推計では本町の人口増加は今後も堅調に続き平成 72 (2060) 年には 50,000 人を超えると予測されています。現状分析結果では、本町の人口増加は西小学校区への転入に集中しており、転入世帯に比例する住宅数は 6 階以上の共同住宅だけが大きく増加していることがわかりました。このことから現在の人口増加は、利便性の高い西小学校区に限定され、受け皿となる住宅は高層住宅によって供給されている飽和状態であると想定されます。
- 今後の人口の将来展望については、転入ニーズの高い西小学校区の住宅供給の飽和状態にあることから、将来推計（社人研）の示す人口増は厳しく、転入増の上げどまりを想定した人口設計を行います。

##### ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○本町では、20・30 代の若年層の転入による社会増が人口増加の要因となっており、今後の子どもの人口を維持していくために、子育て支援の環境整備を充実し、子どもを生き育てやすい環境をさらに向上させていく必要があります。

## (2) 人口の将来展望

人口の現状分析、将来人口の分析などを踏まえ、本町の人口の将来展望の方向を以下のように整理します。

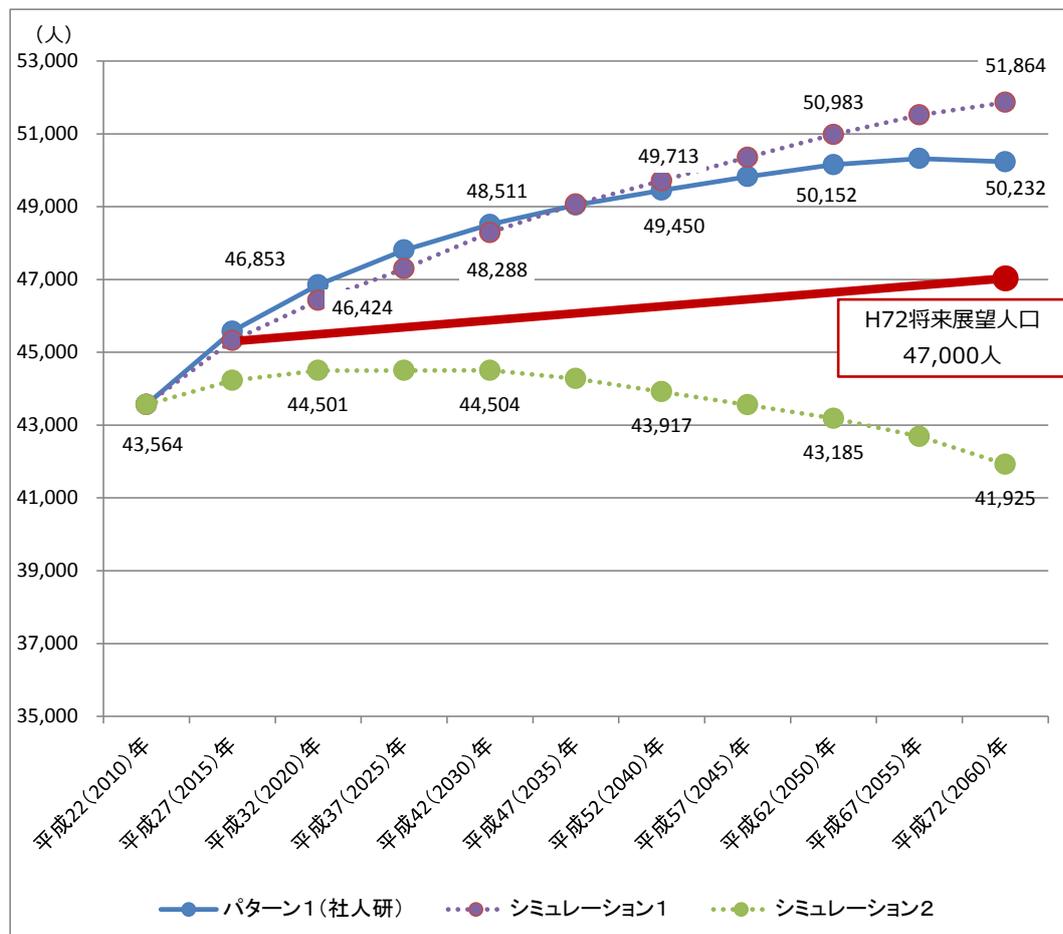
### 【将来展望の考え方】

- 自然動態については、合計特殊出生率が国の示す人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の 2.1）まで上昇すると想定します。
- 社会動態については、住宅供給が飽和状況にあることから、社人研が示す将来推計どおりの人口増加は難しいと想定し、人口推計のシミュレーション 1（パターン 1 において、合計特殊出生率が人口置換水準まで上昇したと仮定した場合のシミュレーション）とシミュレーション 2（シミュレーション 1 で人口移動が均衡し、移動がゼロとなった場合のシミュレーション）の中間値を将来展望人口として設定します。

### 《将来展望人口》

- 平成 72（2060）年の将来展望人口：47,000 人

### 【将来人口の現状推移と将来展望人口】



### Ⅲ 総合戦略の基本方針

#### 1 総合戦略のめざす方向

#### (1) 基本的視点 ～どのような戦略をめざすか～

##### **視点1 施策を講じるターゲットを明確にした周辺地域と横並びにならない、一歩先を見据えたチャレンジ戦略**

⇒本町のこれまでの人口増加及び今後の移住ニーズの高い子育て世代をターゲットとし、周辺地域とは横並びにならないさらなる子育て環境の充実をめざし、一歩先を見据えた新たな取り組みを図ります。

##### **視点2 地方創生を実現するため、地域活力の源となる「稼ぐ力」を高める戦略**

⇒まちの活力を高め、「持続可能なまち」をつくるため、雇用の拡大や所得・税収アップを図ることで、地方創生の実現をめざします。

#### (2) めざす方向

#### 子育て世代に選ばれるまちへ

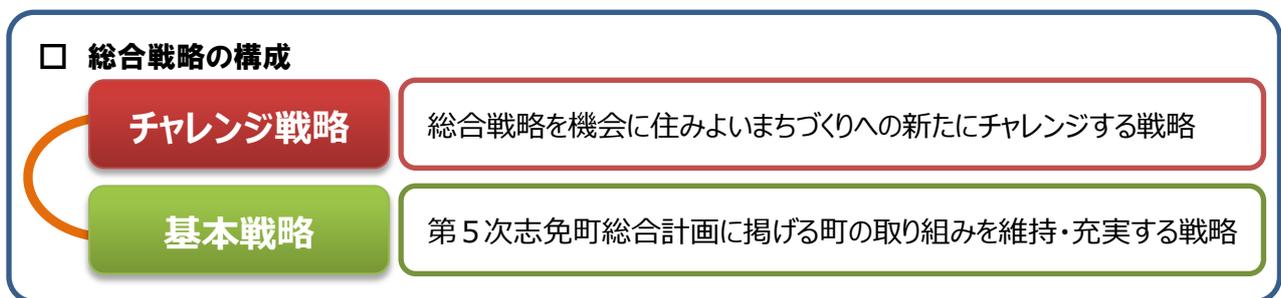
本町の人口増の要因となっている20代～30代の子育て世代の社会増を総合戦略の最重点目標とし、子育て世代の転入促進と定住促進を図るために必要な、子育て支援の環境整備を充実し、子どもを生き育てやすい環境をさらに向上させていくことで「子育て世代に選ばれるまち」をめざします。

## 2 総合戦略の構成（チャレンジ戦略と基本戦略の設定）

### （1）戦略構成の考え方

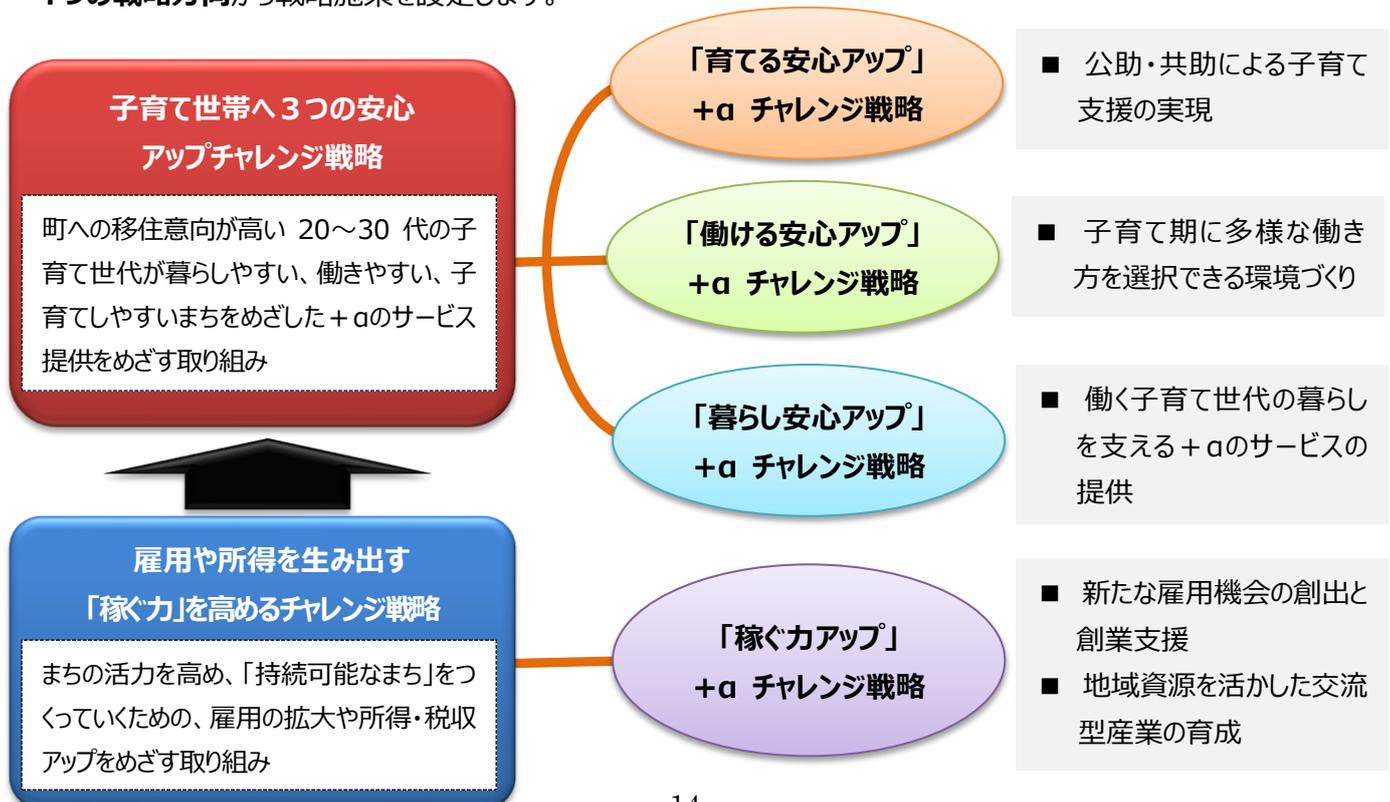
本総合戦略では、めざす方向である【子育て世代に選ばれるまち】を実現するため、特に重点的に取り組むべき「子育て支援」、「雇用創出・所得増加」の2つの分野について、将来を見据えた新たな取り組みに戦略的にチャレンジすることとし、この新たな取り組みを進める施策を**チャレンジ戦略**として設定します。

また、国の総合戦略が示す政策分野に基づき、第5次志免町総合計画に掲げる町の取り組みを維持・充実する施策を**基本戦略**としてまとめます。



### （2）チャレンジ戦略の設定

チャレンジ戦略は特に重点的に取り組むべき子育て支援、雇用創出・所得増加の2つの分野について、以下の**4つの戦略方向**から戦略施策を設定します。



### 3 戦略施策体系

戦略方向	施策	具体的な事業案（どのような取り組みを進めるか）【アウトプット】	取り組みがもたらす成果【アウトカム】	国の総合戦略【基本目標】コミットメント
<b>[チャレンジ戦略 1] 子育て世帯へ3つの安心アップ【女性が活躍しながら安心して子どもを産み育てることができるための新たな取り組み】</b>				
1 「育てる安心アップ」+α チャレンジ戦略	1 公助・共助による子育て支援を実現する	① 子育ての包括的支援体制の構築 ② 子育て交流サロンの実践 ③ ICTを活用した子育て支援の情報発信プラットフォームづくり ④ 公民館等を活用した子育て応援の拠点づくりと多世代による支援体制の整備	・保育ニーズの高い福岡市からの移住・定住を誘導（子育てしやすいまち「しめ」の定着）	●若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる －子ども・子育て支援の充実 －ワーク・ライフ・バランスの実現
2 「働ける安心アップ」+α チャレンジ戦略	2 子育て期に多様な働き方を選択できる	① 子育て世代によるコミュニティビジネスの検証 ② 働きたい女性のための起業・就労支援 ③ 子育て応援企業への支援／子育て世代向けの仕事に関する情報発信	・子育て中の就職、子育て後の再就職者の増加	
3 「暮らし安心アップ」+α チャレンジ戦略	3 働く子育て世代の暮らしを支える+αのサービスを提供する	① 育児・家事・買い物宅配等の家事代行サービスの民間参入促進 ② 身近に利用できる見守り、預かりサービスの実践 ③ 子育て世代の転入者にむけた情報発信	・家事・育児の省力化による子育てと仕事の両立実現	
<b>[チャレンジ戦略 2] 雇用や所得を生み出す「稼ぐ力」を高める【所得や収入を増やし、まちの活力を高めるための新たな取り組み】</b>				
1 「稼ぐ力アップ」+α チャレンジ戦略	1 新たな雇用機会をつくり創業を支援する	① 新規創業者の育成支援 ② 既存産業の第2創業支援 ③ コミュニティビジネス等の育成支援 ④ 創業や事業拡大の支援などを目的とした町有地や公共施設及び民間施設の利活用	・地域経済の活性化 ・雇用者の増加 ・所得アップ ・税収の増加	●地域における安定した雇用を創出する －サービス産業の付加価値向上 －多様な働き方支援
	2 地域資源を活かした交流型産業をつくる	① 地域資源を活用した交流型産業の創出 ② 地場産品の振興に向けたイベント開催支援 ③ 志免町おうえん寄付金の特典への地域特産品（商品）の活用	・町外からの消費拡大 ・地域経済の活性化	
<b>[基本戦略] 総合計画に掲げる取り組みを維持・充実することにより暮らしの満足度を高める</b>				
1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1 子育てしやすい保育環境を整える	① 多様な保育環境の充実 ② 保育環境改善事業【地方創生先行型】	・ニーズに応じた保育サービス・教育環境の提供 ・移住・定住の促進（子育てしやすいまち「しめ」の定着）	●若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	2 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる	① 子育て家庭への相談・交流できる環境整備 ② 子育て情報発信事業【地方創生先行型】 ③ 地域での子育て支援やボランティア活動への支援		
	3 子どもの発達に応じた支援を充実させる	① 障がい児保育の充実 ② 個のニーズに応じた特別支援教育の推進		
	4 親と子の健康を維持・増進させる	① 母子に対する健康診査・予防接種の充実		
	5 出産や育児の負担を軽減する	① 子どもの医療費負担軽減 ② ひとり親家庭などへの支援の充実		
	6 仕事と子育ての両立支援を図る	① 男女共同参画の推進 ② ワーク・ライフ・バランスの促進		
2 まちへの人の流れをつくる	1 シティプロモーションを推進する	① まちの魅力をPRするためのシティプロモーションの推進【地方創生先行事業】	・志免町の認知度アップ ・移住・定住人口増加	●まちへの人の流れをつくる
3 町民の安心な暮らしを守る	1 公共交通の充実を図る	① 公共交通の利便性向上	・交通利便性の向上	●時代にあった地域をつくり、安全な暮らしを守る
	2 安全・安心な暮らしを確保する	① 地域での防犯・防災機能の強化 ② 子ども災害用備蓄品整備事業【地方創生先行型】 ③ 高齢者の見守りや生活支援の充実	・暮らしの安心の向上 ・住民連携による事業機会・雇用の拡大	
	3 町民ニーズに対応した行政サービスを提供する	① 総合窓口設置によるワンストップサービスの提供 ② 子連れお出かけ支援事業【地方創生先行型】	・行政サービスへの満足度向上	

## IV 戦略施策

### 1 チャレンジ戦略

#### (1) 【チャレンジ戦略 1】 子育て世帯へ3つの安心アップ戦略

##### 戦略方向 1

##### 「育てる安心アップ」+α チャレンジ戦略

#### 【施策 1】 公助・共助による子育て支援を実現する

##### ■ 施策の基本方針

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略において、子育ての希望をかなえる政策パッケージとして掲げる「子育て世代包括支援センターによる切れ目のない子育て支援」を本町の取り組みへ反映するとともに、地域の人材を活用した子育て支援のモデルを設計し公助と共助のあわさった地域ぐるみの子育て支援による「育てる安心アップ」を実現します。

また、子育て環境のさらなる充実に向け、産学官民がそれぞれのネットワークや専門性を活かし連携して取り組みます。

##### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○子どもを育てやすいまちだと答えた保護者の割合※（全体）	70.6%（H26）	75.0%以上
○子どもを育てやすいまちだと答えた保護者の割合※（居住年数5年未満の保護者）	66.2%（H26）	70.0%以上
○合計特殊出生率	1.77（H25）	1.80以上

※町民意識調査結果に基づく数値

##### ■ 具体的な事業案

#### ① 子育ての包括的支援体制の構築

- 妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズに対して、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）の体制づくりを行います。
- 子育てコンシェルジュを設置し、多様な子育て支援情報や保育サービスの案内やさまざまな子育ての相談に応じるなど、子育て世帯の立場にたった応援体制をつくります。

【想定される事業メニュー】

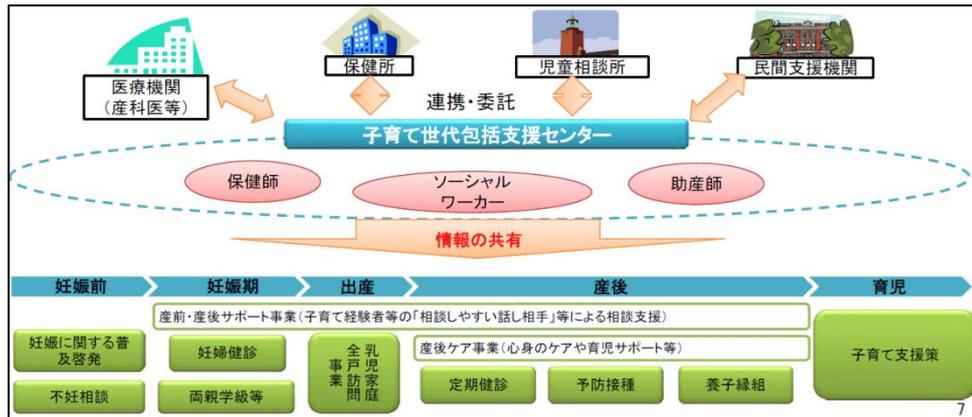
- ・子育て世代包括支援センターの設置
- ・子育てコンシェルジュの設置

【重要業績評価指標（KPI）】

- 子育て世代包括支援センター及び子育てコンシェルジュの設置：1箇所
- 子育てに関する相談体制に満足している保護者の割合(全体)\*：80%以上

※町民意識調査に基づく数値

＜国のまち・ひと・しごと創生総合戦略における子育て世代包括支援センターのスキーム＞



② 子育て交流サロンの実践

- 子育て世帯が互いに交流し、子育ての悩みを解消したり、サークル活動等への参加のきっかけをつくる場として、住民の自主運営による交流サロンの設置を支援します。
- 本交流サロンは実践を通じて、子育て世帯のニーズが高い一時預かり等の受け皿として、託児サービスの展開をめざします。

【想定される事業メニュー】

- ・住民の自主運営による交流サロンの設置支援
- ・交流サロンを活用した託児サービスの検討及び実践 ※戦略方向3「暮らし安心アップ」②と連動

【重要業績評価指標（KPI）】

- 子育て交流サロンの開設数：4箇所(各校区1箇所)以上
- 住んでいる地域の子育て環境に満足している保護者の割合\*：65%以上
- 子育て交流サロンを活用した託児サービスの検討及び実践

※町民意識調査に基づく数値

### ③ ICT を活用した子育て支援の情報発信プラットフォームづくり

- ICT を活用した子育てサポートサイトを開設し、さまざまな子育て情報を身近に受信できる環境をつくとともに、子育て世帯同士の情報交換や交流、子育てサービスの依頼等ができるプラットフォームとして活用します。

#### 【想定される事業メニュー】

・ICT を活用した子育てサポートサイトの開設

#### 【重要業績評価指標（KPI）】

■ 子育てサポートサイトの利用満足度\*：70%以上

※利用者アンケート結果に基づく数値

### ④ 公民館等を活用した子育て応援の拠点づくりと多世代による支援体制の整備

- 公民館など、各地域にある公共施設を活用し、子どもの交流活動の実践などを通じてさまざまな世代の住民が子どもや保護者と日常的に交流する「集いの場」をつくることで、地域で子育てを応援する環境づくりを進めます。
- 子育て世代だけでなく、高齢者や若者などさまざまな世代の町民の身近な交流の場として、公民館の活用を促進し、町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動に参加する町民の輪を広げていきます。

#### 【想定される事業メニュー】

・公民館等を活用した子育て世代の交流機会の充実  
・町民の身近な交流の場としての公民館の活用促進

#### 【重要業績評価指標（KPI）】

■ 公民館等での新たな子ども交流事業の開催数：4箇所(各校区1箇所)以上

■ 子どもに関する地域・サークル活動に参加した大人の割合\*：30%以上（H26：24.5%）

※町民意識調査に基づく数値

【施策 2】 子育て期に多様な働き方を選択できる

■ 施策の基本方針

家庭において子育ての喜びを共有できるよう、男女が子育てに参画する環境をつくるためには、従来からの長時間労働を基本とする男性型労働慣行を改め、男女がともにライフスタイルに応じた多様な生き方を自由に選べることが重要です。

本町では、特に女性において、結婚、出産を機に離職され、子育てが一段落したらまた就労するというM字型の就業傾向が顕著となっています。平成 25 年度に本町で実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」でも、就学前児童の母親で就労している比率は 53.9%となっている一方、父親の育児休業の取得率は 1.7%しかない状況です。また、就労していない母親のうち就労希望がある母親は 71.0%となっており、さらに子どもが就学前はフルタイムよりも短時間の就労のニーズが高い傾向にあり、子育て期における就労支援の取り組みが大きな課題といえます。

そこで、仕事と家庭の両立支援等に積極的に取り組む企業への支援や女性を中心とした働くことを希望する人への支援など子育て期に多様な働き方を選択できる取り組みを進めます。

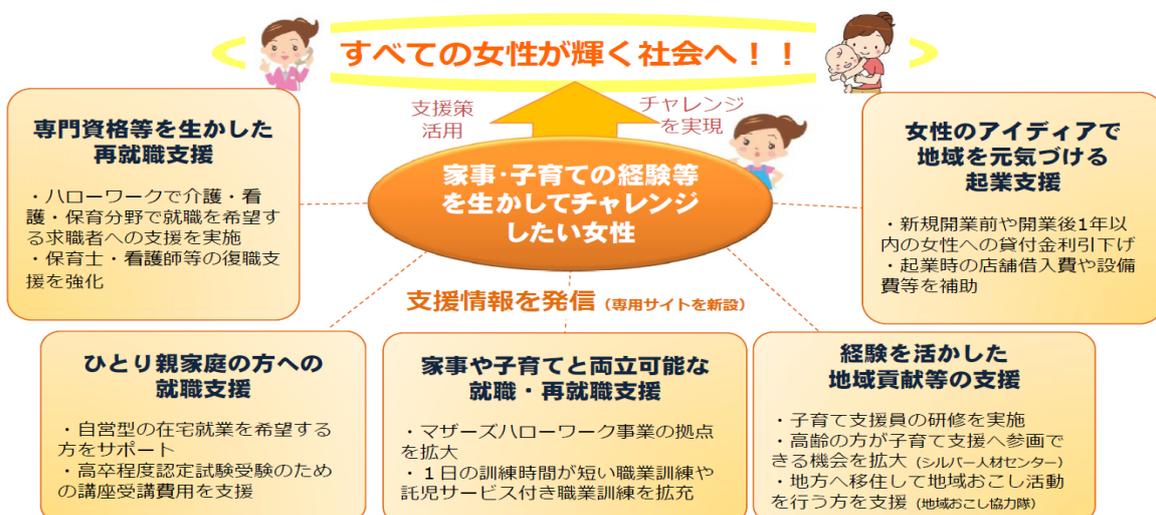
■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○女性の就業率※ <sup>1</sup> (25歳～44歳)	66% (H22)	70%以上
○子どもを持つ不安として「就労環境」を理由に挙げた女性の割合※ <sup>2</sup>	9.9% (H26)	5.0%以下

※1:女性の就業率の基準値はH22 国勢調査に基づく数値

※2:町民意識調査に基づく数値

<厚生労働省・女性のチャレンジ応援プラン概要 (H27 年度) >



## ■ 具体的な事業案

### ① 子育て世代によるコミュニティビジネスの検証

- 子育て世代が多様な働き方を選択できるよう、限られた時間を活用して技術や趣味を地域課題の解決のために仕事として実践するコミュニティビジネスの導入をめざし、官民連携により先進事例等を参考にしたモデル事業を構築し、実施・検証を行います。

【想定される事業メニュー】

・子育て世代向けのコミュニティビジネスの検証(モデル事業の構築)

【重要業績評価指標 (KPI)】

■ 子育て世代向けのコミュニティビジネスのモデル事業の実践

### ② 働きたい女性のための起業・就労支援

- 結婚や出産を機に離職された女性の起業や再就職に向けた資格や技能取得などのスキルアップを支援する講座を開催するなど、官民連携による取り組みを行い、働きたい女性が産み、育て、活躍できる社会づくりをめざします。

【想定される事業メニュー】

・女性の起業や再就職を支援するセミナーや講座の開催

【重要業績評価指標 (KPI)】

■ セミナー・講座の開催回数(計画期間内累計)：それぞれ5回以上

### ③ 子育て応援企業への支援／子育て世代向けの仕事に関する情報発信

- 職場における女性の活躍推進や仕事と家庭の両立支援等に積極的に取り組む企業を子育て応援企業に認定し、県の事業と連携しながら町内に広く紹介するとともに、企業の子育て応援を支援します。
- 町内の子育て応援企業や子育てに理解のある求人情報等の情報発信を行い、子育て世代への就職を支援します。

【想定される事業メニュー】

・子育て応援企業の認定と支援  
・子育て世代の就職に関する情報発信(子育て世代応援ハローワークの開設等の検討)

【重要業績評価指標 (KPI)】

■ 子育て応援宣言企業(認定)数：30事業所(社)以上 (H27:23事業所(社))

■ 出産や育児休暇等があると答えた町内企業に勤める町民の割合\*：60%以上(H26：55.2%)

※町民意識調査に基づく数値

【施策 3】 働く子育て世代の暮らしを支える+αのサービスを提供する

■ 施策の基本方針

今後、新たなビジネスモデルとして民間参入の拡大が見込まれる、買い物宅配などの高齢者や子育て世帯への生活代行サービスの民間事業者の早期参入を促進するとともに、町民主体による身近な見守り・預かりの場づくりなど、子育て世代の育児と仕事の両立を支える+αの暮らしのサービスを提供します。

また、町のさまざまな子育て支援のサービスが必要とする子育て世帯に十分に提供できるよう、転入者への情報提供をはじめ効果的な情報発信を行います。

■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○子どもを育てやすいまちだと答えた保護者の割合※（全体）	70.6%（H26）	75.0%以上
○子どもを育てやすいまちだと答えた保護者の割合※（居住年数5年未満の保護者）	66.2%（H26）	70.0%以上
○子どもを持つ不安として「仕事や家庭と育児の両立」を理由に挙げた女性の割合※	22.7%（H26）	15.0%以下

※町民意識調査に基づく数値

■ 具体的な事業案

① 育児・家事・買い物宅配等の家事代行サービスの民間参入促進

- 今後の民間事業者による子育て世帯に対する家事代行サービス等の動向を調査し、具体的な実践を検討する事業者に対してモデル事業としての実証事業の実施を支援することで、民間事業者の事業導入を促進します。

【想定される事業メニュー】

・子育て向け家事代行サービスの民間参入促進(民間事業者との業務提携による事業化支援)

【重要業績評価指標（KPI）】

■生活支援サービスにおける民間等との業務提携数  
： 2件以上(家事代行サービス・子育てタクシー等)

## ② 身近に利用できる見守り、預かりサービスの実践

- 交流サロン等を活用し、子育て世帯のニーズが高い一時預かり等の受け皿として、託児サービスの展開をめざします。

### 【想定される事業メニュー】

- 交流サロン等を活用した身近に利用できる見守り、預かりサービスの検討及び実践  
※戦略方向1「育てる安心アップ」②と連動

### 【重要業績評価指標（KPI）】

- 交流サロン等を活用した多様な見守り、預かりサービスの検討及び実践
- 住んでいる地域の子育て環境に満足している保護者の割合\*：65%以上

※町民意識調査に基づく数値

## ③ 子育て世代の転入者にむけた情報発信

- 町外から転入してきた子育て世代に対し、町の子育て支援に関するサービス等をPRし、有効に活用してもらえよう、ガイドブック等を作成し情報発信を行います。

### 【想定される事業メニュー】

- 転入者向け子育てガイドブックの発行・配布

### 【重要業績評価指標（KPI）】

- 子どもを育てやすいまちだと答えた保護者の割合(居住年数5年未満の保護者)\*  
：70.0%以上（H26：66.2%）

※町民意識調査に基づく数値

## (2) 【チャレンジ戦略 2】 雇用や所得を生み出す「稼ぐ力」を高める

### 戦略方向 4

### 「稼ぐ力アップ」+ α チャレンジ戦略

#### 【施策 1】 新たな雇用機会をつくり創業を支援する

##### ■ 施策の基本方針

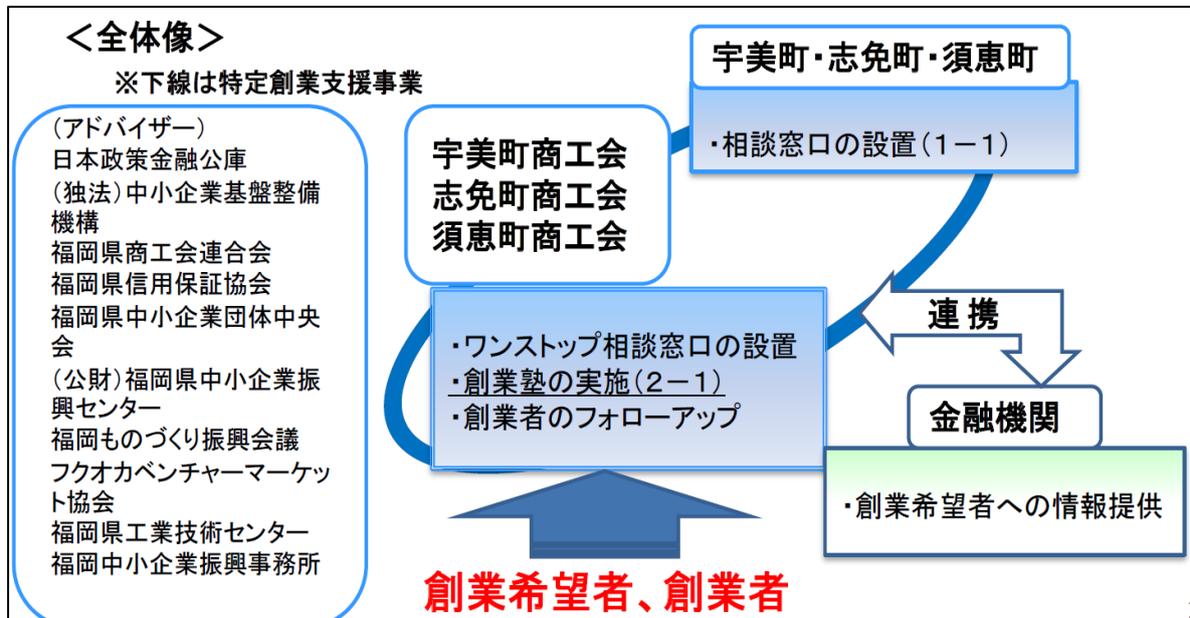
町内の新たな雇用機会をつくり、職住一体による定住促進を図るため、新規創業者の育成や既存の商工業の第2創業等を商工会と町が連携し支援します。また、高齢者や女性など一般的に就業機会の少ない町民が持っている技術や能力を活かした起業ができるよう支援し、多様な町民の働く場を広げます。

##### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○納税者一人あたりの課税対象所得額	2,830 千円 (H25)	2,900 千円以上
○創業比率	2.37% (H20～H24)	2.50%以上

※創業比率:ある特定の期間において、「①新設事業所(又は企業)を年平均にならした数」の「②期首(前回調査時点)において既に存在していた事業所(又は企業)」に対する割合。①/②で算出。

<糟屋南部 3 町商工会・創業支援事業計画のスキーム>



## ■ 具体的な事業案

## ① 新規創業者の育成支援

- 糟屋南部3町商工会により策定した創業支援事業計画に基づく、高齢者のシニア創業支援を含め、町内の新たな創業者の育成を官民連携により支援します。

## 【想定される事業メニュー】

- ・商工会の広域事業「シニア創業塾」の支援
- ・官民連携による創業セミナーの実践

## 【重要業績評価指標（KPI）】

- シニア創業塾による年間創業件数：のべ40件(3町累計)
- 官民連携による創業セミナー開催回数(計画期間内累計)：5回以上

## ② 既存産業の第2創業支援

- 町と商工会の官民連携により、町内の既存産業による新規事業の立ち上げ、異業種分野への進出等の第2創業を支援します。

## 【想定される事業メニュー】

- ・官民連携による既存産業の第2創業支援の実践

## 【重要業績評価指標（KPI）】

- 第2創業数(計画期間内累計)：3件以上

## ③ コミュニティビジネス等の育成支援

- 官民連携により就業機会の少ない女性や高齢者を中心に、自身の持つ技術や能力・経験を活かし、地域の生活支援など社会課題やニーズに対応したコミュニティビジネスの起業を支援します。

## 【想定される事業メニュー】

- ・町民によるコミュニティビジネスの実践に向けた人材育成機会の充実

## 【重要業績評価指標（KPI）】

- コミュニティビジネスに関するセミナー等の開催回数(計画期間内累計)：5回以上
- コミュニティビジネス取り組み団体数(計画期間内累計)：5団体以上

#### ④ 創業や事業拡大の支援などを目的とした町有地や公共施設及び民間施設の利活用

- 町内の事業者の創業や事業拡大への町有地や公共施設の利活用を促進する機会をつくり、事業者の育成を支援します。
- 空き店舗等の把握を行い、新規創業者への空き店舗の斡旋から情報通信技術（ICT）関連企業などのサテライトオフィスの誘致を進めます。

##### 【想定される事業メニュー】

- ・町有地や施設の産業振興への利活用の促進
- ・創業支援及びサテライトオフィス等の誘致

##### 【重要業績評価指標（KPI）】

- 産業振興の視点で町有地や施設を利活用した件数（計画期間内累計）：2件以上
- 創業等への支援件数（計画期間内累計）：10件以上

## 【施策 2】 地域資源を活かした交流型産業をつくる

### ■ 施策の基本方針

福岡市や福岡空港に隣接する地の利を活かし、地域資源である竪坑櫓をはじめとする炭鉱の歴史文化や地域産品等を有効に活用した町外者の訪れる交流事業を展開することで、交流人口の増加を図ります。この交流人口の増加にあわせ観光向けの商品・サービスを開発することで町内消費の拡大を図る交流型産業を育成し、町内の雇用機会の拡大を図ります。

### ■ 数値目標（KPI）

目標指標	基準値	目標値(H31)
○休日の滞在人口率	2.18倍	2.5倍

※滞在人口率：志免町の休日における滞在人口（2時間以上の滞留）÷H22国勢調査人口（43,547人）

### ■ 具体的な事業案

#### ① 地域資源を活用した交流型産業の創出

- 竪坑櫓を中心とした町の歴史文化を広く町外へPRし、周辺の観光スポットと連動した広域観光ネットワークにより、本町への交流人口増加をめざします。
- 町の固有の資源である炭鉱文化などをストーリーとした体験型観光プログラムを開発し、集客につなげていきます。
- 竪坑櫓周辺の公共施設等に土産物や飲食販売を行う店舗を誘致し、観光客が消費できる商品・サービスを提供し経済効果を高めます。

## 【想定される事業メニュー】

- ・ 壱坑槽を中心とした町の歴史文化の観光PRと広域観光の推進
- ・ 歴史文化等をテーマとした体験型観光プログラムの開発
- ・ 観光スポット周辺での民間販売事業者の誘致による消費拡大

## 【重要業績評価指標（KPI）】

- 地域資源を活用した交流人口増加や消費拡大などを目的とした新事業（計画期間内累計）：3事業以上
- 志免町のイメージとして「知らない」「イメージがない」と答えた福岡都市圏住民の割合\*：35%以下（H26：50.8%）

※福岡都市圏住民(10,000人)を対象としたWebアンケートに基づく数値

## ② 地場産品の振興に向けたイベント開催支援

- 商工会や町内の団体等による地域の農産物や飲食サービス等の地場産品を活用した食イベント等の開催を支援し、町への集客による経済効果を高めます。

## 【想定される事業メニュー】

- ・ 商工会や町内の団体等による食イベント等の開催支援

## 【重要業績評価指標（KPI）】

- 地場産品の振興のためのイベント支援件数(計画期間内累計)：10件以上
- 出店事業者の満足度\*：90%以上

※出店事業者アンケートに基づく数値

## ③ 志免町おうえん寄付金の特典への地域産品（商品）の活用

- 町で実施している「志免町おうえん寄付金」の返礼特典メニューに地域産品（商品）を取り入れることで町の産品を広くPRするとともに町外への流通販売機会を増やしていきます。

## 【想定される事業メニュー】

- ・ 志免町おうえん寄付金の返礼特典サービスへの地域特産品(商品)の活用

## 【重要業績評価指標（KPI）】

- ふるさと納税を活用した地域産品(商品)販売額(年間)：600万円以上

## 2 基本戦略

### 戦略方向 1

### 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 【施策 1】 子育てしやすい保育環境を整える

##### ■ 施策の基本方針

2017年より子育て新制度の小規模保育事業が新設されるなど、今後も待機児童解消に向けた規制緩和が進む中、これらの環境変化に対応し、本町の特性・条件にあわせた保育サービスを検討し、多様な子育てニーズをかなえる保育サービスを提供することで「子育てしやすい保育環境」を実現します。

##### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○保育園の待機児童数	49人(H27)	0人
○学童保育待機児童数	25人(H27)	0人

##### ■ 具体的な事業

#### ① 多様な保育環境の充実

- 保育ニーズの多様化や社会環境の変化に対応しながら、乳幼児の一時預かりや幼児期の教育・保育及び学童保育など、保育ニーズの充実を図り、待機児童のない保育環境を整えます。

##### 【事業メニュー】

- ・地域子ども・子育て支援事業委託事業
- ・子ども・子育て支援事業計画推進・管理事業
- ・町立保育園運営事業／私立認可保育園運営事業
- ・私立幼稚園就園助成事業 ・届出保育施設一時預かり事業
- ・病後児保育事業

#### ② 保育環境改善事業【地方創生先行型】

- 保育環境の改善を図るため、遊具・備品等を充実していきます。

## 【施策 2】 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる

### ■ 施策の基本方針

核家族化の進行や共働き夫婦が増える中、受けるべき子育て支援の情報を知る事ができず、子育て中の保護者が孤立し、育児不安になる等の状況が見られます。こうした課題を解決するため、子育てに関する情報発信の多様化や子育てに関する相談・交流機会を拡充し、子育てに関していつでもどんなことでも相談できる環境をつくります。

### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○子育て支援センター、子育てサロン、子育て教室等の年間延べ利用者数	2,261 人 (H26)	3,000 人以上

### ■ 具体的な事業

#### ① 子育て家庭への相談・交流できる環境整備

- 「子育て支援センター」を地域の子育て支援の拠点として、子育て家庭が孤立することなく情報提供や相談・交流できる環境を充実させます。

##### 【事業メニュー】

- ・子育て支援センター運営事業
- ・子育て広場運営事業
- ・子育てほっとライン運営事業

#### ② 子育て情報発信事業【地方創生先行型】

- 子育て世代に向け、予防接種の日程やイベント情報等、携帯電話等のモバイル情報端末向けの子育て情報発信サービスを展開します。

#### ③ 地域での子育て支援やボランティア活動への支援

- 親子が地域で集う場を充実させ、地域での子育て支援やボランティア活動を支援します。
- 子どもや子育て家庭を支援するための地域主体の取り組みや活動にかかわる人材・グループの養成を支援します。

##### 【事業メニュー】

- ・子育て支援団体活動支援事業
- ・育児支援教室開催事業

## 【施策 3】 子どもの発達に応じた支援を充実させる

### ■ 施策の基本方針

町では、発達の気になる子どもに対して、総合的な相談を行う障がい児相談事業や就学後の特別支援教育の推進などの支援を拡充し、取り組んできました。今後も子どもの発達に応じた支援を維持・充実していきます。

### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○子どもの発達に関する年間延べ相談件数	2,540 件 (H26)	3,000 件以上

### ■ 具体的な事業

#### ① 障がい児保育の充実

- 保育園・幼稚園における障がい児保育の充実を図ります。
- 療育・相談体制を充実させるなど、障がい児・発達が気になる子どもへの一貫性のある支援を行います。

#### 【事業メニュー】

- ・障害児保育指導事業
- ・児童発達支援センター支援事業
- ・障害児相談事業

#### ② 個のニーズに応じた特別支援教育の推進

- 小中連携による個のニーズに応じた特別支援教育を推進します。

#### 【事業メニュー】

- ・特別支援教育事業

## 【施策 4】 親と子の健康を維持・増進させる

### ■ 施策の基本方針

少子化が進む中、出生率を向上させるためには、妊娠から子育てまでの間、親子が共に健康で不安なく生活できるよう支援の充実が求められます。子どもを健やかに生み育てる環境整備を推進するため、母子保健の充実により、子どもや母親の健康の確保に取り組みます。

### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○乳幼児健診受診率	95.4% (H26)	95.4%以上

### ■ 具体的な事業

#### ① 母子に対しての健康診査・予防接種の充実

- 子どもや母親の健診や予防接種などの受診勧奨や受診しやすい環境づくりに取り組み、母子の健康管理を促進するとともに、小児医療体制を維持・充実します。

#### 【事業メニュー】

・乳幼児健診・相談事業

## 【施策 5】 出産や育児の負担を軽減する

### ■ 施策の基本方針

子育て世帯の出産や育児に対する経済的支援を推進するため、国の制度に基づく手当の適切な支給及び医療費助成制度の充実を図り、本町での若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組みを進めます。

### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○子どもを持つ不安として経済的な理由を挙げた若年女性（18歳～39歳）の割合※	63.3%（H26）	55.0%以下

※町民意識調査に基づく数値

### ■ 具体的な事業

#### ① 子どもの医療費負担軽減

- 医療費無料対象年齢の引き上げ等により、子どもの医療費負担軽減を図ります。

【事業メニュー】

・乳幼児医療費助成事業

#### ② ひとり親家庭などへの支援の充実

- ひとり親家庭など援助を必要とする家庭への医療費助成や日常生活における支援を充実します。

【事業メニュー】

・ひとり親家庭等医療費助成事業  
・母子・父子家庭日常生活支援事業

## 【施策 6】 仕事と子育ての両立支援を図る

### ■ 施策の基本方針

子育て世帯が安心して子育てのできる暮らしを実現するため、男女共同参画の醸成により、夫婦がともに子育てに取り組む意識を高めるとともに、仕事と子育てのバランスがとれる多様な働き方を選択できる環境づくりに向けて就業環境、就労条件等の改善に向け、労働者・雇用者双方への啓発活動を推進します。

### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○勤務先に出産・育児休暇等の制度があると答えた町民の割合※	56.1% (H26)	65.0%以上

※町民意識調査に基づく数値

### ■ 具体的な事業

#### ① 男女共同参画の推進

- 「志免町男女共同参画推進条例」に基づき、男女共同参画を総合的かつ計画的に推進します。

##### 【事業メニュー】

- ・男女共同参画啓発事業
- ・男女共同参画行動計画管理事業
- ・女性のための相談事業

#### ② ワーク・ライフ・バランスの促進

- 町民が仕事と家庭、地域生活等の調和が図られた暮らしができるよう、地域や企業における環境づくりを促進し、仕事と家庭の両立を支援します。

##### 【事業メニュー】

- ・企業の育児休暇制度導入の促進

【施策 1】 シティプロモーションを推進する

■ 施策の基本方針

転入者の多い福岡市をはじめ首都圏等の都市部を中心に町の暮らしの魅力を訴求する効果的なプロモーションを推進することで本町への関心を高め、交流人口及び定住人口の拡大を図ります。

■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○志免町を引っ越し先として候補に挙げる 福岡都市圏住民の割合	2.3% (H27)	10.0%以上

※福岡都市圏住民(10,000人)を対象としたWebアンケートに基づく数値

■ 具体的な事業

① まちの魅力をPRするためのシティプロモーションの推進【地方創生先行事業】

- 本町の魅力をまとめたプロモーション冊子や動画を作成し、町外へ効果的に発信します。

【事業メニュー】

・シティプロモーション事業

## 戦略方向3

## 町民の安心な暮らしを守る

## 【施策 1】公共交通の充実を図る

## ■ 施策の基本方針

日常的な暮らしを支える公共交通の利便性を更に高め、安心で便利な暮らしの向上をめざし、国・県の地域交通に関する動向を見据えた取り組みを検証します。

## ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○「通勤や買い物などの交通の不便さ」を住み続けたくない理由にあげる町民の割合※	31.1% (H26)	25%以下

※町民意識調査に基づく数値

## ■ 具体的な事業

## ① 公共交通の利便性向上

- 町内の公共施設、福祉施設を利用する際の利便性向上のため、ニーズを踏まえた福祉巡回バスの効果的な運行を行います。
- 国・県の交通政策に関する動向にあわせ、新たな交通システムの導入に向けた検討を進めます。

## 【事業メニュー】

・福祉巡回バス運行事業

## 【施策 2】安全・安心な暮らしを確保する

### ■ 施策の基本方針

昨今の大規模災害が増加する中、災害時の初期消火や避難活動の初動対応において地域の防災活動の重要性が高まっており、自主防災組織や消防体制の確保等により、地域防災力の強化と防災意識の高揚を図り、安全安心な暮らしの実現を進めます。あわせて、高齢社会の進展に伴い、日常的な高齢者等の見守り、生活支援の必要性が高まっており、地域の支えあいの組織づくりにより、町民主体の互助の仕組みを拡充します。

### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○自主防災組織の結成率	66.6% (H27)	100%
○暮らしやすい地域であると感じる高齢者の割合※	61.6% (H26)	65%以上

※町民意識調査に基づく数値

### ■ 具体的な事業

#### ① 地域での防犯・防災機能の強化

- 自主防災組織の結成を促進するとともに、自主防災組織の活動支援を行っていきます。また、消防団員の確保策を検討します。
- 避難行動要支援者を把握し、災害時にはスムーズに救済活動を展開できるよう準備を進めます。

#### 【事業メニュー】

- ・自主防災組織活動支援事業
- ・災害時要援護者支援対策事業
- ・消防団員出動支援事業

#### ② 子ども災害用備蓄品整備事業【地方創生先行型】

- 災害時における子どもの安全確保を目的に子どもの災害用備蓄品の充実を進めます。

#### ③ 高齢者の見守りや生活支援の充実

- 町民の互助に対する意識を啓発し、町民主体による見守りや支援活動を推進します。
- 法制化される地域ケア会議で地域課題を検討し、地域のネットワークを推進します。

#### 【事業メニュー】

- ・高齢者地域ネットワーク事業(地域包括ケアの構築)

## 【施策 3】 町民ニーズに対応した行政サービスを提供する

### ■ 施策の基本方針

町民にとって満足度の高い行政の窓口サービスを展開するため、総合窓口による行政サービスなど高度化に向けた環境整備を行います。

### ■ 数値目標

目標指標	基準値	目標値(H31)
○行政サービスに満足している町民の割合※	63.9%	68%以上

※町民意識調査に基づく数値

### ■ 具体的な事業

#### ① 総合窓口設置によるワンストップサービスの提供

- さまざまな分野の住民の手続き・相談の一括窓口となる総合窓口部門を設置します。

#### 【事業メニュー】

・総合窓口設置事務

#### ② 子連れお出かけ支援事業【地方創生先行型】

- 公共施設へ授乳室やベビーバット等を設置し、子育て世帯にやさしいまちづくりを推進します。



## 資料編

---

# 1 志免町まち・ひと・しごと総合戦略策定委員会名簿・策定経過

## (1) 委員名簿

氏名	関係機関代表
北村 速雄	西日本工業大学名誉教授・九州都市学会顧問
吉田 耕二	志免町商工会 理事 工業部会長
河村 英憲	福岡銀行志免支店 支店長
山田 尊史	西日本シティ銀行志免連合店 支店長
名倉 昌志	株式会社エイエイピー福岡営業支店 支店長
平木 幸乃	志免町子育てネットワーク
佐藤 清美	志免町子育てネットワーク
上野 颯士	志免町在住の大学生（九州大学）

## (2) 策定経過

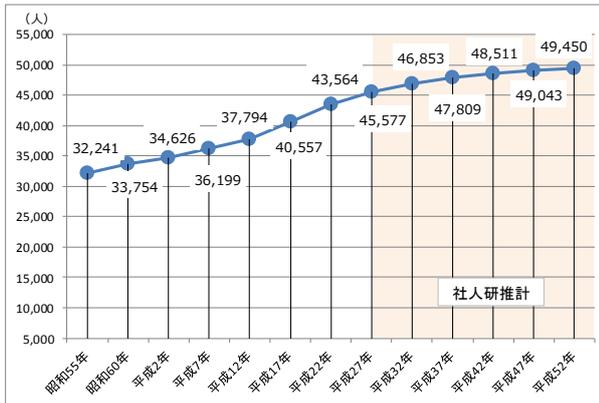
年月	内容
平成 27 年 10 月 26 日	第 1 回創生本部会議（町長・副町長・教育長・各課課長） ・策定体制、策定スケジュールについて ・人口ビジョン及び総合戦略コンセプトについて
11 月 20 日	第 1 回策定委員会 ・策定体制、策定スケジュールについて ・人口ビジョン及び総合戦略コンセプトについて
11 月 26 日	第 2 回創生本部会議 ・総合戦略骨子案について
12 月 8 日	議会全員協議会 ・人口ビジョン及び総合戦略コンセプトについて
12 月 22 日	第 2 回策定委員会 ・提案事業について
平成 28 年 1 月 21 日	第 3 回策定委員会 ・総合戦略素案について
1 月 25 日	第 3 回創生本部会議 ・総合戦略素案について
2 月 5 日	議会全員協議会 ・総合戦略素案について
2 月 10 日～3 月 4 日	パブリックコメント
2 月 26 日	第 4 回創生本部会議 ・総合戦略最終案について
3 月 17 日	議会全員協議会 ・総合戦略最終案について

## 2 志免町の人口の現状分析（志免町人口ビジョン）

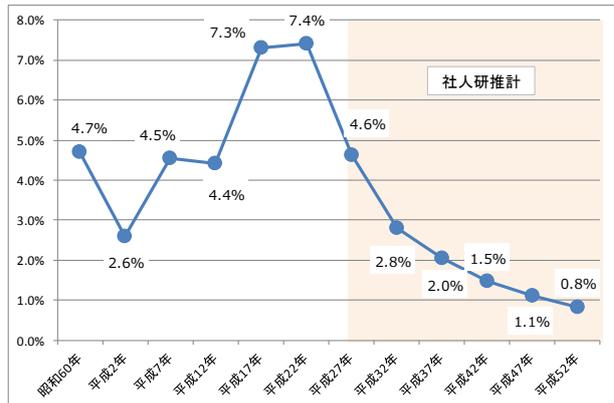
### (1) 人口数・人口構成

- 志免町の総人口数は微増傾向が続いており、将来推計でも微増で推移すると予測される。
- 志免町の総人口の増加率は平成 27 年度以降の将来推計では徐々に下がっていくと予測される。

【総人口の推移(国勢調査及び社人研推計)】

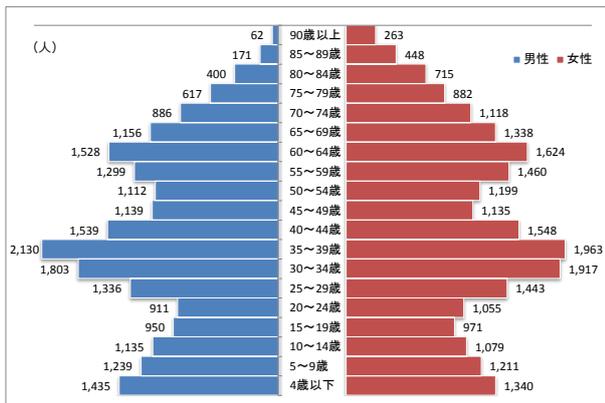


【人口増減率の推移(国勢調査及び社人研推計)】

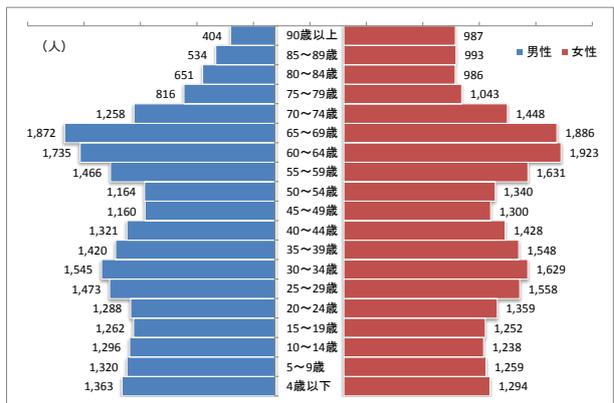


- 人口ピラミッドの変化でみると将来、女性を中心に高齢者層が増加するが人口構造としては安定している。

【平成 22 年の人口ピラミッド(国勢調査)】

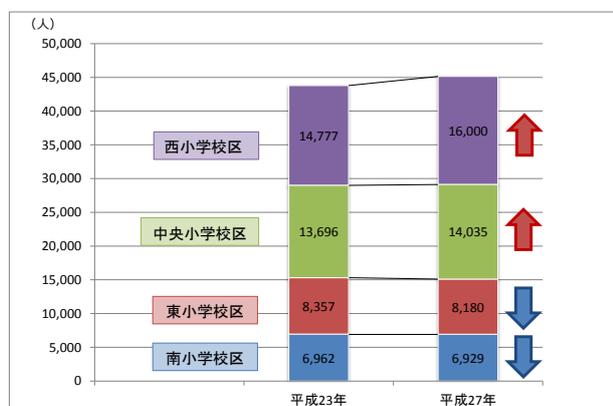


【平成 52 年の人口ピラミッド(社人研推計)】

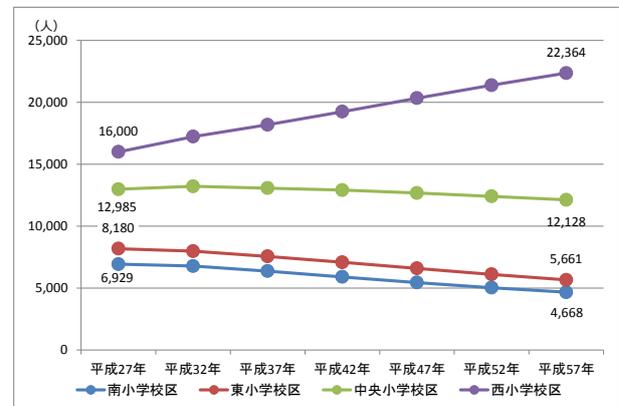


- 地区別にみると人口動向に地区格差が見られ、西小学校区だけが人口増加が続くものと予測される。

【地区別人口の推移(住民基本台帳)】



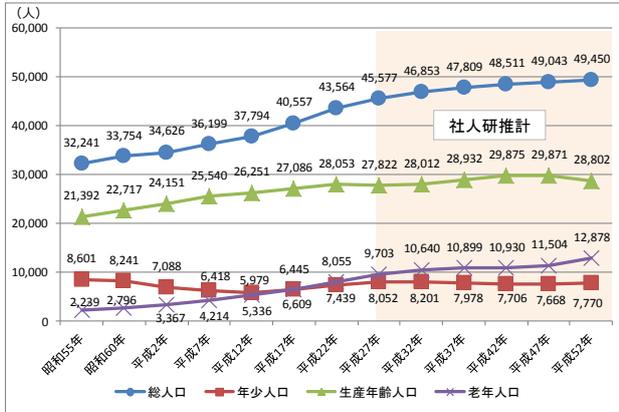
【地区別将来人口の推移】



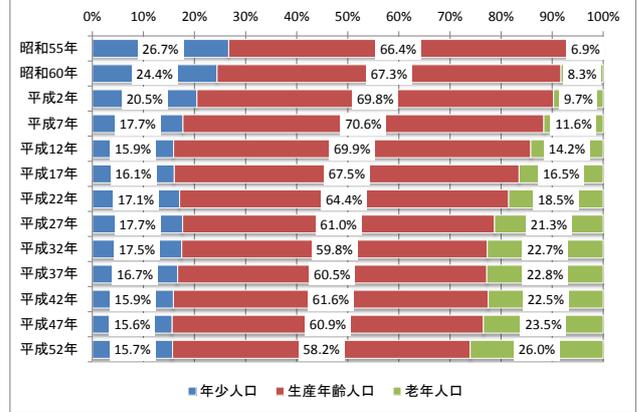
※住民基本台帳に基づくコーホート変化率法に基づく独自推計

- 年齢3区分別にみると生産年齢人口、年少人口は横ばいで推移する一方、老年人口が将来人口にわたって増加し、平成52年には人口比率26.0%まで上昇する。

【年齢3区分別人口の推移(国勢調査及び社人研推計)】



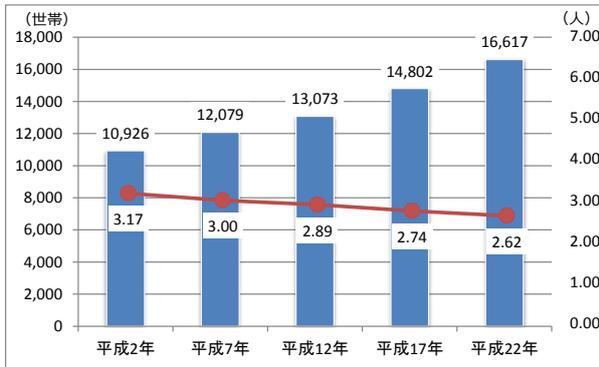
【平成52年の人口ピラミッド(社人研推計)】



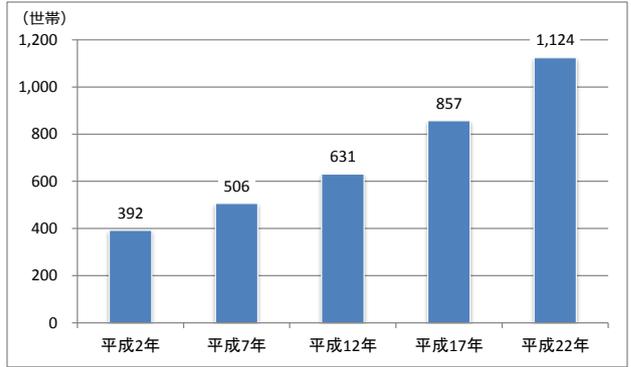
## (2) 世帯数・住まい

- 世帯数の増加は続くが世帯当たり人員数は減少し、核家族化が進む。
- 65歳以上の高齢者の単身世帯の増加が顕著になっており、今後、空き家の増加が懸念される。

【世帯数・世帯当たりの人員数の推移(国勢調査)】

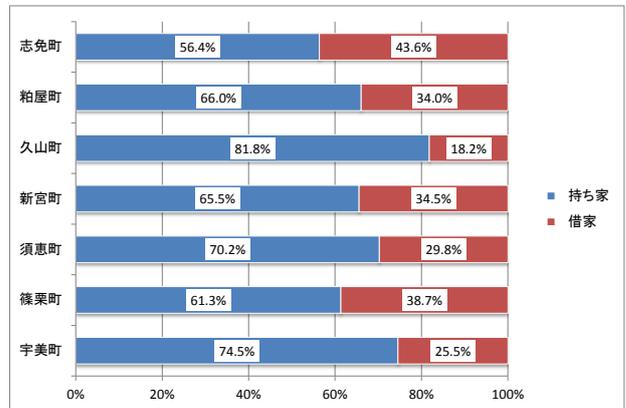
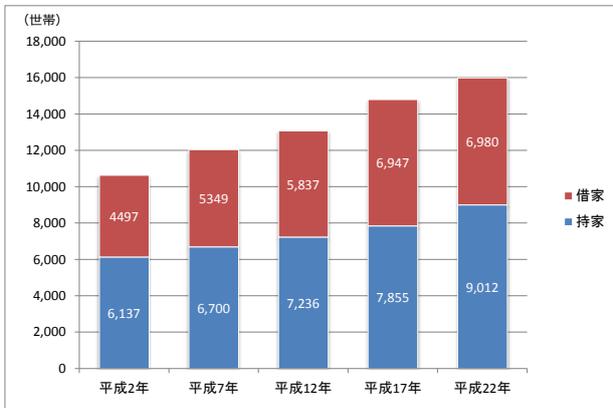


【高齢者単身世帯数の推移(国勢調査)】



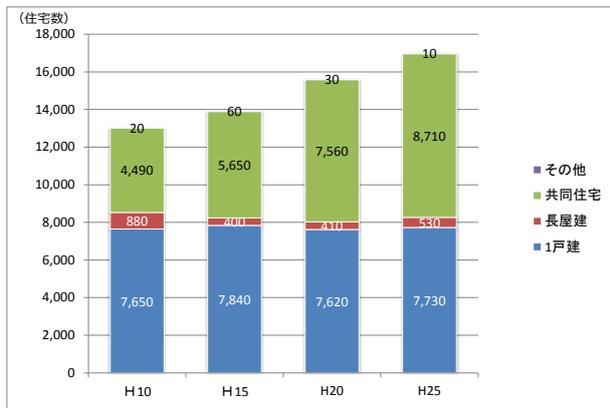
- 世帯数の増加にあわせ住宅数が増加しているが、持家率は56.4%と高くない。

【住居を所有する世帯数の推移<持家・借家別>(国勢調査)】 【郡内の持家率比較(H22年国勢調査)】

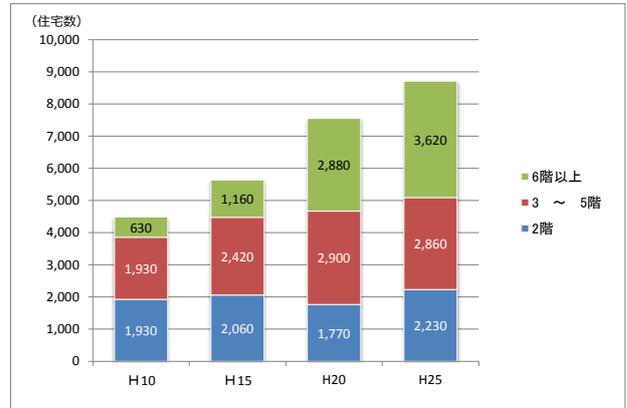


- 住宅数の推移を住居形態別にみると 6 階以上の高層の共同住宅数のみが顕著に増加しており、共同住宅の高層化でしか住宅供給ができない飽和状態になっていることが予測される。

【住宅建て方別住宅数の推移(住宅・土地統計調査)】



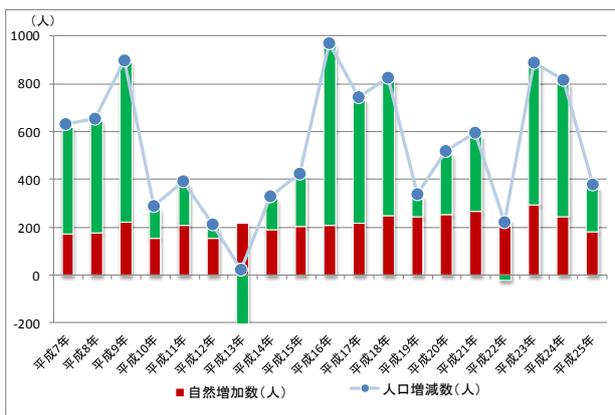
【共同住宅の階数別内訳】



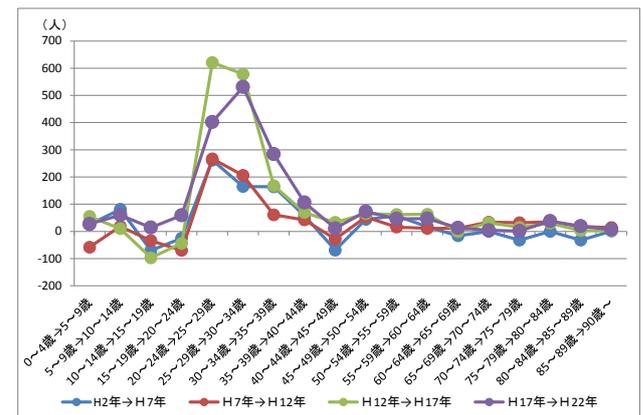
### (3) 人口動態

- 自然増、社会増が続いており、20・30代の若年層の転入による社会増が人口増加の要因となっている。

【世帯数・世帯当たりの人員数の推移(国勢調査)】

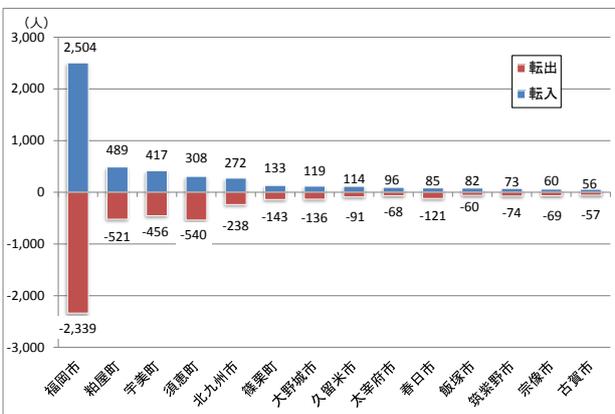


【年齢階層別人口移動数の推移(住民基本台帳人口移動調査)】

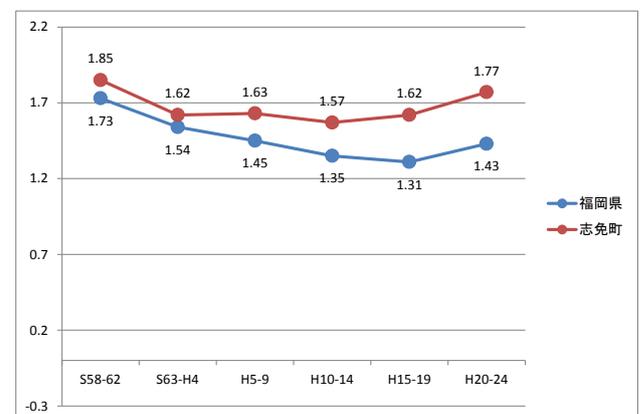


- 本町の社会動態を転入転出した自治体別にみると、転入転出ともに福岡市が最も多く、転入超過となっている。
- 本町の合計特殊出生率は直近の統計では 1.77 となり県平均を上回っている

【県内自治体別転入転出数(上位)(人口動態調査)】



【合計特殊出生率の推移(人口動態保健所統計)】

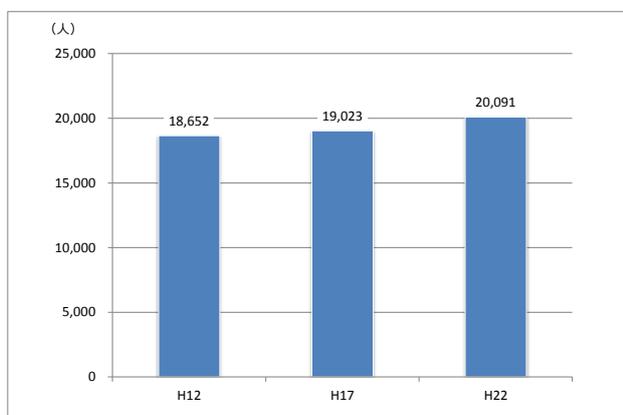


※H24-26年の合算した数値

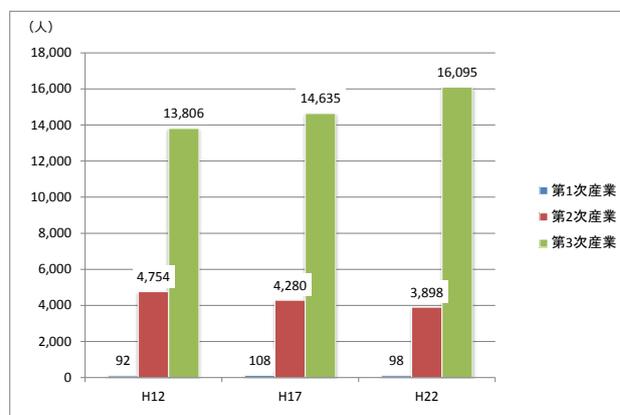
#### (4) 就業人口・通勤通学人口

- 本町の就業者数は微増傾向で推移、産業3部門別にみると第3次産業の人口が微増しており、第1次・第2次産業は微減している。

【就業者人口(総数)の推移(国勢調査)】

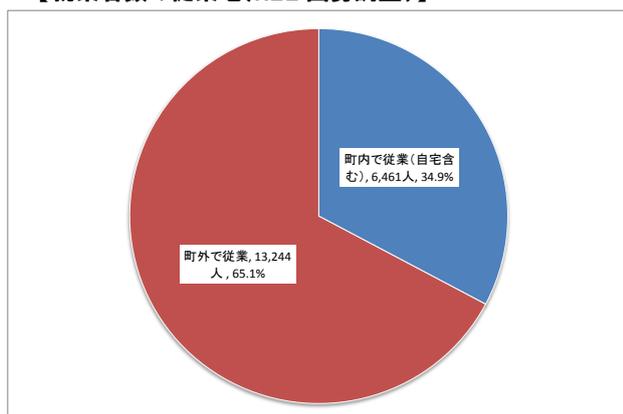


【産業3部門別就業者人口の推移(国勢調査)】

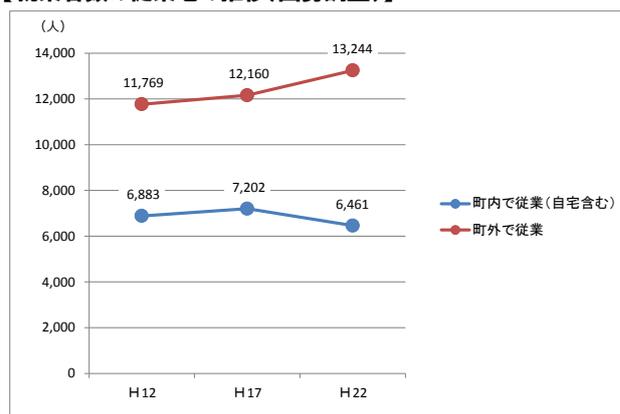


- 町内に常住する就業者のうち町外へ通勤し従業する人は平成22年で65.1%となっており、増加傾向にある。主な就業先は福岡市が64.6%と大半を占める。

【就業者数の従業地(H22 国勢調査)】



【就業者数の従業地の推移(国勢調査)】



### 3 町外者アンケート調査結果

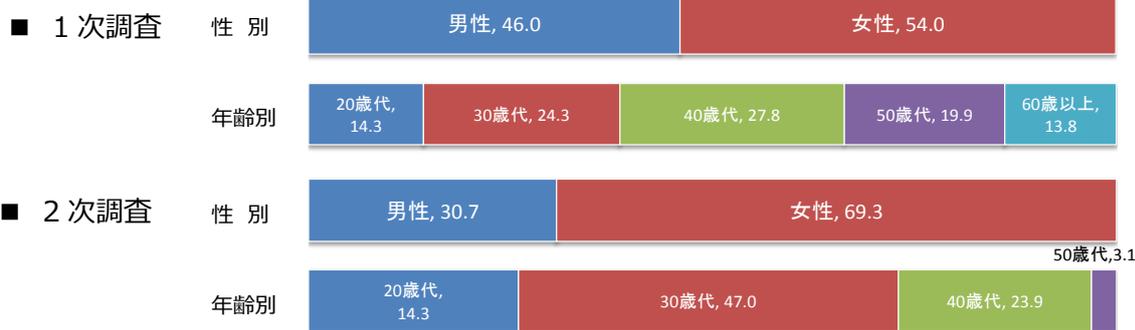
#### 【調査概要】

- (1) 調査対象 : 福岡県在住 20 歳以上の男女
- (2) 調査テーマ/サンプル数 : インターネットによる 2 段階調査
- (3) サンプル数 : 2 段階調査によるサンプル抽出
  - 1 次調査 : 移住に関する傾向調査/10,000 サンプル
  - 2 次調査 : 志免町への定住関心層へのニーズ調査/500 サンプル

※1 次調査より志免町への定住関心層を選抜

(4) 調査期間 : 平成 27 年 11 月

(5) 回答者属性 :



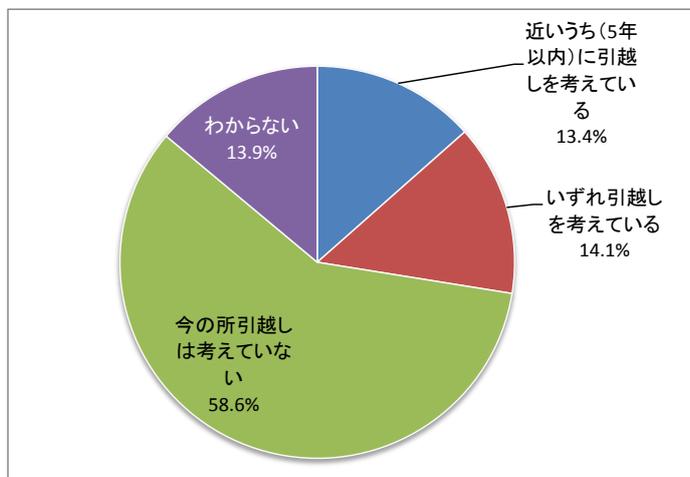
#### 【調査結果】

### (1) 1次調査

#### ① 移住意向について

【今後の移住予定】

(今後、引越しを考えていますか)

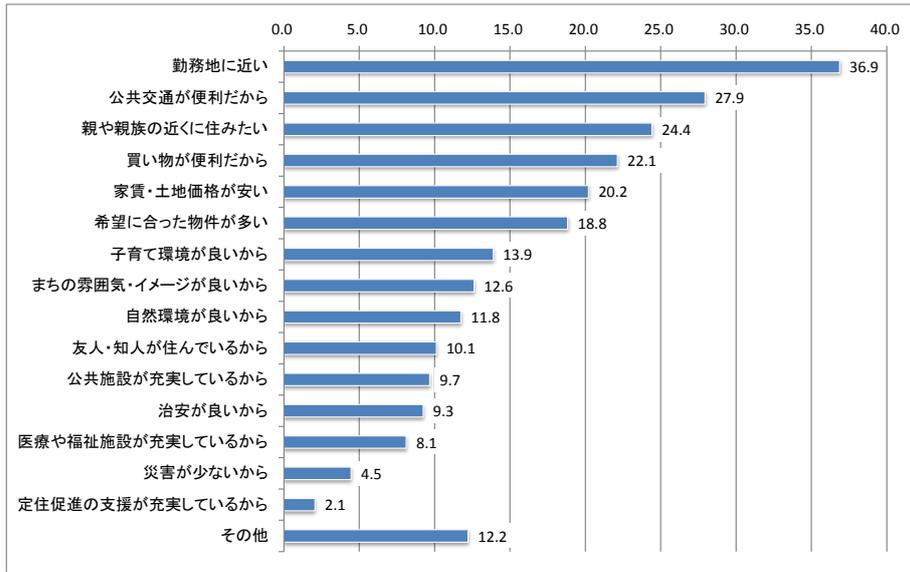


【移住先として検討するエリア（上位項目）】

(引越し先として検討するエリアはどこですか/複数回答)

エリア	%
福岡市(中央区・城南区)	25.7
福岡市(博多区)	20.4
福岡市(早良区・西区)	18.4
福岡市(南区)	16.8
福岡市(東区)	15.4
北九州市	14.7
春日市	6.0
大野城市	5.0
久留米市	4.1
筑紫野市	4.1
宗像市	2.6
太宰府市	2.5
飯塚市	2.4
福津市	2.4
糸島市	2.3
<b>志免町</b>	<b>2.3</b>
粕屋町	2.1
古賀市	2.1
新宮町	1.9
那珂川町	1.9

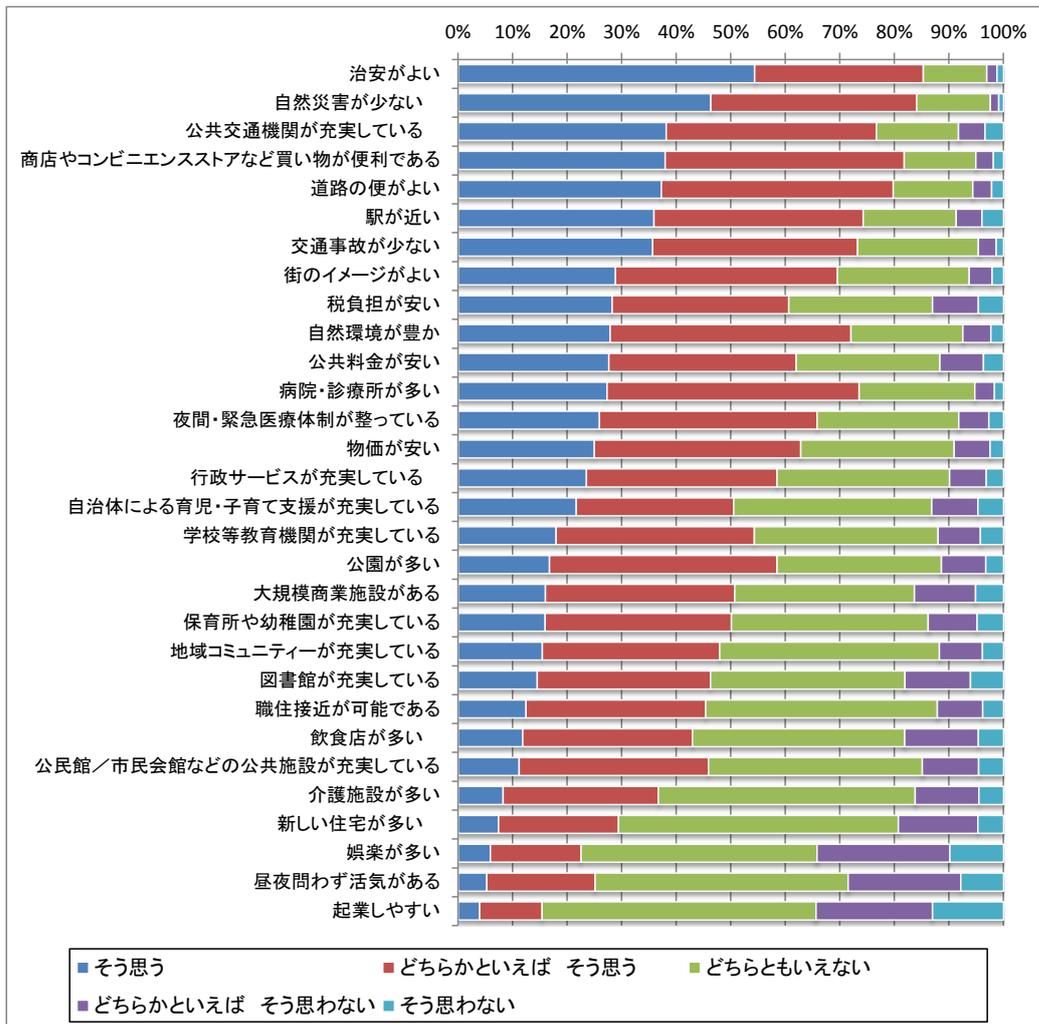
【今後、移住する予定】(引越しを考える目的・理由は何ですか／複数回答)



② 住みやすさの条件について

【「住みよい・暮らしやすい街」の条件】

(住環境に関する以下の項目は「住みよい・暮らしやすい街」の条件だと思いますか)



【引越しにあたっての優先事項】

(引越しにあたって優先する事項は何ですか。1位～5位まで、お答えください)

○優先順位1位にあがった事項(上位)

		%
1	勤務地・就学地との距離	22.2
2	公共交通や道路の利便性	21.9
3	買い物の利便性	15.4
4	不動産価格	12.5
5	親や子どもの居住地との距離	9.4

○優先順位2位にあがった事項(上位)

		%
1	公共交通や道路の利便性	22.9
2	買い物の利便性	21.7
3	勤務地・就学地との距離	15.6
4	不動産価格	8.7
5	親や子どもの居住地との距離	4.9

③ 志免町のイメージについて

【志免町に対するイメージ】

(志免町についてどのようなイメージを持っていますか/自由記述)

※「知らない」「わからない」等の回答を除いた上位回答傾向

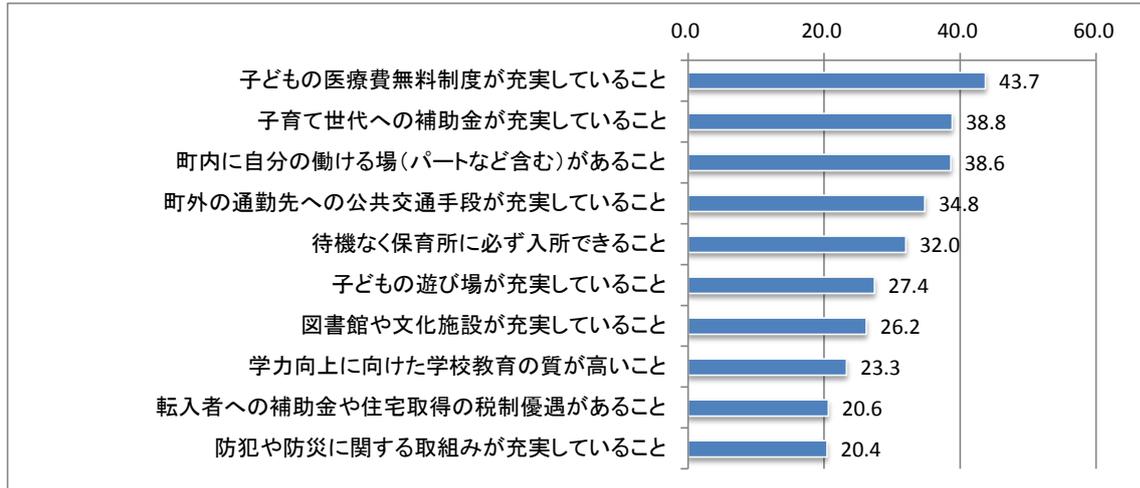
- 田舎なまち(975件) : 田舎なまち/適度な田舎/都会に近い田舎 等
- 福岡市に近い(668件) : 福岡市に近いベッドタウン/新興住宅地/福岡市の近郊で住みやすい等
- 空港に近い(323件) : 福岡空港に近いまち/空港に近く便利 等
- 炭鉱のまち(323件) : 旧炭鉱のまち、炭鉱跡が残る 等
- 商業施設が多い、買い物が便利(265件) : イオンモールがあり便利/商業施設、ショッピングが充実/飲食店が多い/買い物が便利 等
- 自然が多い(202件) : 自然が多い/自然環境が良い/田んぼ・緑が多い 等
- 交通が不便(151件) : 交通の便が良くない/アクセスが悪い/車がないと不便/JRがない 等
- 発展しているまち(132件) : 活気があるまち/最近、(住宅・商店など)開発が進むまち/これから発展する(しそうな)まち 等
- 治安が悪い(120件) : 治安が良くない/ガラが悪い 等

## (2) 2次調査

### ① 志免町を引越し先として選ぶ条件として、重視するもの

(志免町を引越し先として選ぶ条件として、下記のうち、重視するものはありますか／複数回答)

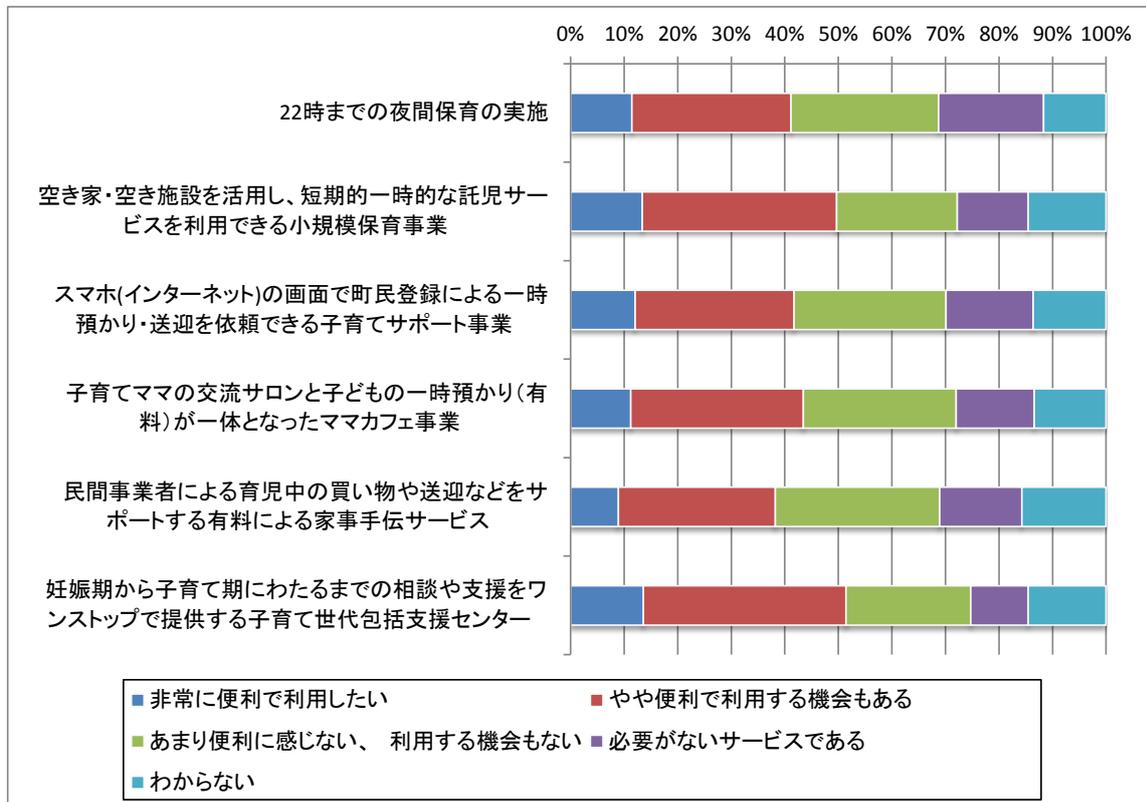
※上位回答項目



### ② +αの子育て支援サービスの取り組みの便利度

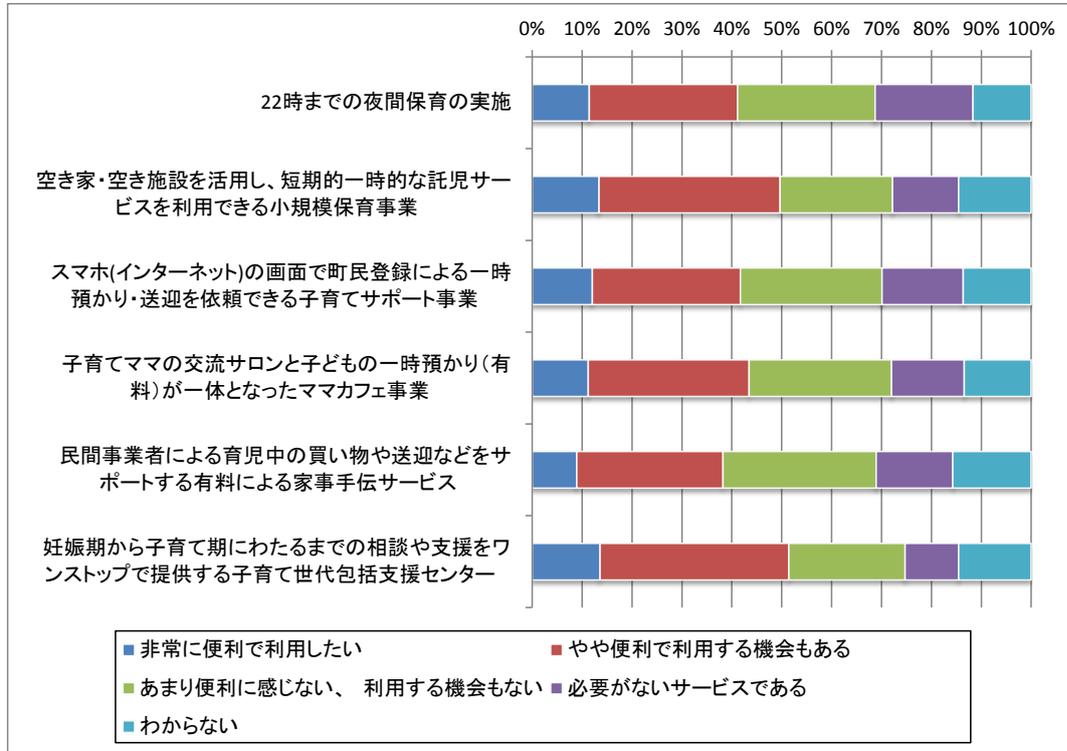
(志免町では、子育て世帯の満足度を高める「+αの子育て支援サービス」の実現をめざしています。

下記に示す、+αの子育て支援サービスの取り組みについて、あればどの程度便利だと感じますか。)



### ③ +αの子育て支援サービスの取り組みの便利度

(志免町では、子育て世帯の満足度を高める「+αの子育て支援サービス」の実現をめざしています。下記に示す、+αの子育て支援サービスの取り組みについて、あればどの程度便利だと感じますか。)

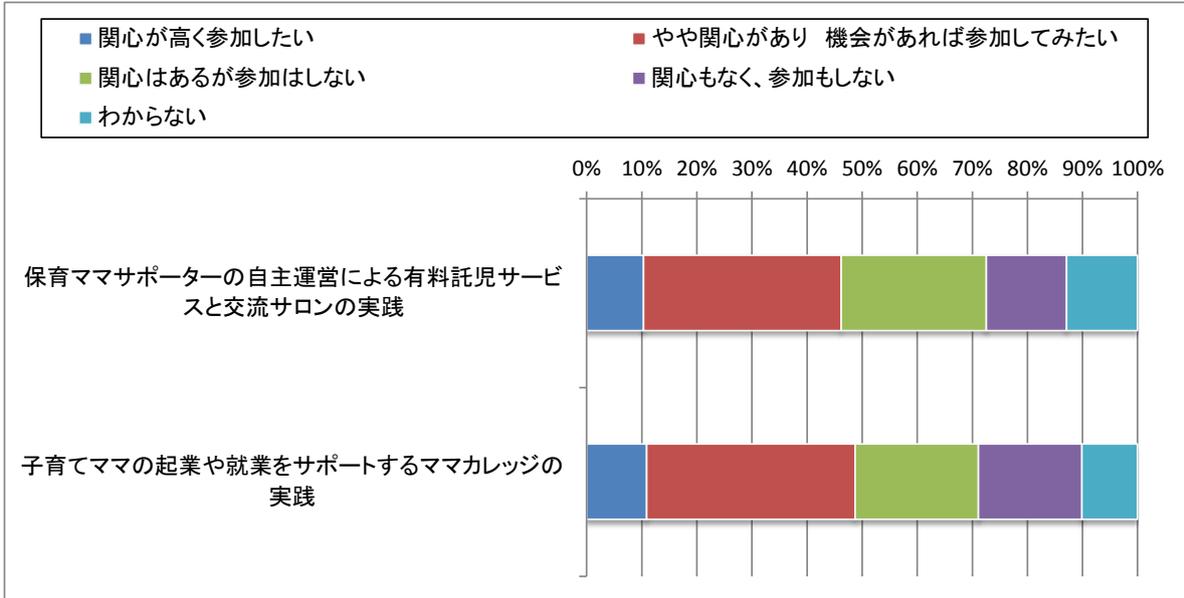


#### 【+αの子育て支援サービスとしてあれば便利だと思うものについて（自由意見）】

病児保育／医療費負担支援 (32件)	○医療費を小学生になっても無料なら助かる。 ○休日医療の充実 ○夜間対応の小児科 ○病気の時や急用に使える、無料又は格安タクシー
保育時間の拡大 (28件)	○土日祝も預かる保育所 ○24時間の訪問医療を含む乳幼児の救急医療サービス ○延長保育 22時までというのが魅力的。 ○一時保育の充実 ○高齢者施設と保育所併設
子どもの遊び場・公園の充実 (14件)	○子ども同士が触れ合って遊べる体験できる施設の充実 ○こどもを遊ばせることができる場所、授乳室の設置場所があること ○公園やグラウンドなど子供が遊べる施設がもっと増えるとよい。
託児サービスの充実 (12件)	○カフェと託児が一体化していると便利で嬉しい。 ○単に預かってくれるだけでなく、英語教育など、子供の将来に向けた習い事の提供するプリスクールのようなサービスが欲しい。 ○マンションの中に、託児所があれば隣組の関係も築けて安心出来る ○毎日利用できる児童館の充実。
子育てへの経済支援 (11件)	○子育て支援金があると良い ○子育て世帯に対する税制上の優遇
学童保育の充実 (7件)	○夏休み、冬休みの期間のみの学童 ○小学六年生までの学童保育
買い物・生活支援 (6件)	○新鮮で安心安全な食料品を、ネット等で注文でき、手頃な価格で宅配してもらえるサービス。 ○商店街などに一時預かりのサービスがあれば利用してみたい ○宅配サービス ○妊娠中の食事などの支援サービス

#### ④ 女性の多様な働き方支援の取り組みについての参加意向

(女性の方にお聞きします。本町では、女性が子育てしながら働けたり、空いた時間で多様な働き方ができる環境づくりをめざしています。下記に示す、女性の多様な働き方支援の取り組みについて、あなたは参加してみたいと思いますか)

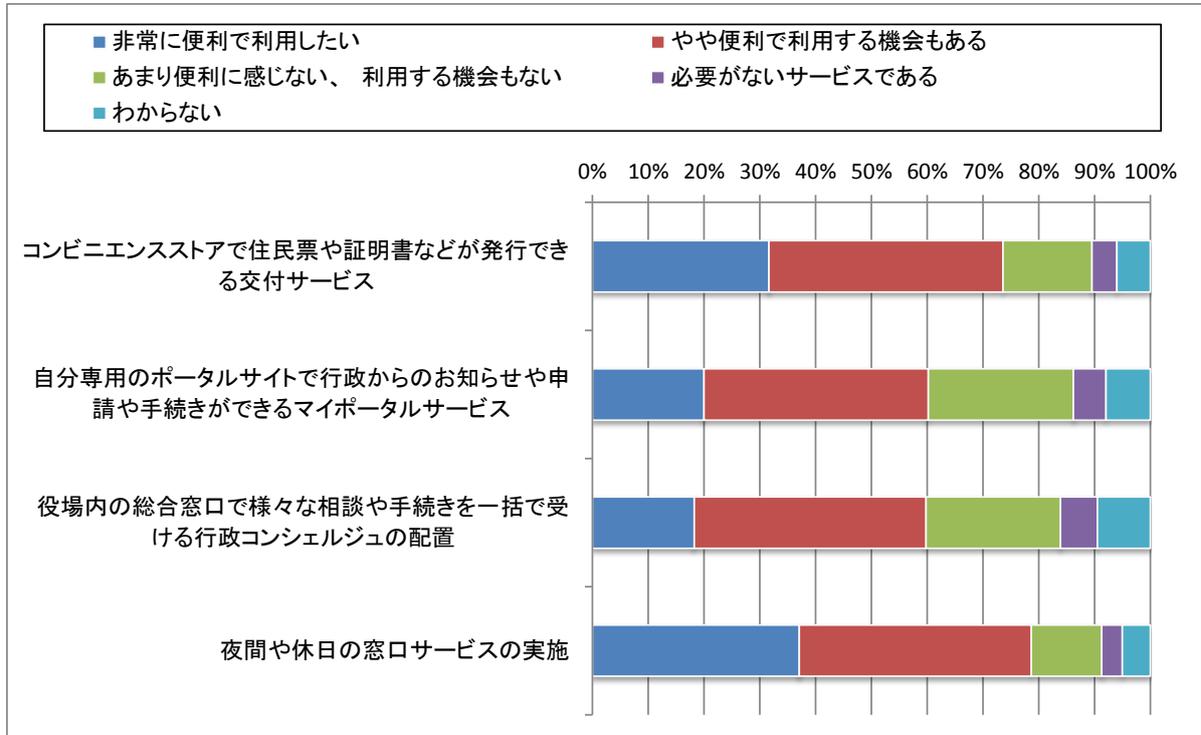


【女性の多様な働き方支援としてあれば便利だと思うものについて（自由意見）】

子育て主婦の再就職・起業支援 (41件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サロン、ママカレッジが将来的に、町民の方々に関わるビジネス（子育て就学、就業、就職、ファミリー～介護サポート、独居の方のメンタルサポート等、人の一生を支えるトータルビジネス）として行われる様になれば良い</li> <li>○パソコン教室など夜など仕事に影響ない時間にしてほしい</li> <li>○ブランクがあいても働きやすい環境支援</li> <li>○子育てママ向けのハローワークみたいな、就職先の紹介</li> <li>○家でできる内職の仕事の情報してほしい</li> <li>○在宅でもできる就業支援。在宅ワークの斡旋</li> <li>○資格取得のための機会</li> <li>○事務職につけるようなサポート</li> <li>○出産と育児で仕事から離れてしまった、ブランクのあるママへの再就職支援</li> </ul>
子どもを連れて働ける職場／子育てサポート企業の充実 (28件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会社側に子連れ OK や託児所完備等の子育てしやすい環境づくりを</li> <li>○サポート応援企業のリストがあれば便利</li> <li>○在宅ワークの普及や、好きな時間に出て来て作業ができる職場</li> <li>○急な子供の体調などにも対応してくれる会社</li> </ul>
病児保育等、保育サービスの充実 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事で早めに帰れない時のための、夜間保育や食事補助など</li> <li>○子供が熱を出した時に 預かってくれる 病院みたいな保育園</li> <li>○夕飯まで食べさせてくれる保育所</li> </ul>
子育てママのリフレッシュできる交流機会 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ママのリフレッシュをかねた、託児ありの、例えば陶器作り、パティエさんと呼んでケーキ作り、子育ての為になる公演など、普段なかなかできない、行けないことができる時間が、定期的にあると嬉しい</li> <li>○ママ達の交流の場を沢山作ってほしい。</li> </ul>
男性の子育て支援 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パパと子どもの子育てセミナー。男性が子育てに参加するための勉強会とか交流会とか。</li> </ul>
育児相談の充実 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育てが終わった方やベテランママによる相談。</li> </ul>

## ⑤ +αの行政サービスの取り組みの便利度

(志免町では住民の満足度の高い「+αの行政サービス」の実現をめざしています。下記に示す、+αの行政サービスの取り組みについて、あればどの程度便利だと感じますか)



【+αの行政サービスとしてあれば便利だと思うものについて（自由意見）】

窓口サービスの拡大 (56件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役場の業務を、土日や平日の夜間にも対応してほしい</li> <li>○24時間行政や相談窓口サービスが受けられること</li> <li>○お年寄りや子連れ優先窓口</li> <li>○なんでもすぐする課をつくる</li> <li>○引っ越しや家族の死亡等生活の変化によって必要な手続きは何かを、分かりやすく一覧にして教えて欲しい</li> <li>○期限のある手続きを忘れないようにお知らせしてくれるサービス</li> <li>○行政の事を何でも聞ける電話窓口</li> </ul>
役場以外での発行手続き拡大 (14件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵便局で住民票が発行できる。コンビにはプライバシーがもれそう</li> <li>○利用者が多い駅などにさまざまな手続きが出来る派出所が出来れば良いと思います</li> <li>○福岡市内での手続きができる</li> <li>○住民票などの郵送サービス</li> </ul>
ICTを活用したサービス (11件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役場の情報はメールで配信</li> <li>○ポータルサイトで、申請した書類が自宅に届く郵送サービスがあると便利</li> <li>○イベントの案内や子育てに関する情報の配信サービス</li> <li>○インターネットで住民票の発行を申し込み出来、郵送で受け取れるサービス</li> <li>○スマホで住民票やさまざまな個人状況などを確認申請できる</li> </ul>
子育てサービス (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役場での手続き中に子供を見てくれるサービス。託児所</li> </ul>

## 4 用語解説

行	用語	解説
あ行	M字型	女性の労働力を年齢階級別にみると、「25～29歳」と「45～49歳」が最も高く、「35～39歳」が谷底になるかたちから名づけられた表現
か行	合計特殊出生率	15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する
	交流型産業	観光等を通じて、外部との交流接点を継続して創出する産業
	コミュニティビジネス	地域が抱える課題を地域資源を活かしながらビジネス的な手法によって解決しようとする事業
	コンシェルジュ	一般的にはホテル内で宿泊客のさまざまな相談や要望に応える職業をさす。本計画では子育て保育のさまざまな相談に対応する人材をさす
さ行	サテライトオフィス	企業と離れた場所に、企業の一機能を受け持つ事務所などを設置すること。IT技術の革新などにより分散オフィスが可能になったことにより生まれた概念
	シティプロモーション	観光客増加・定住人口獲得・企業誘致等を目的として、地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動
	小規模保育事業	2017年より施行される子育て新制度により新設される保育事業。0-3歳未満児を対象とした、定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育をさす
	シミュレーション	模擬実験の事。本計画では、想定するモデルに対して数学的に予測すること
	人口動態	ある一定期間内の人口変動。本計画では出生と死亡による人口変動（自然動態）および他自治体への流入・流出（社会動態）をさす
	スキルアップ	個人の技術や知識を向上させること
た行	第2創業	既に事業を営んでいる事業所の後継者などが業態転換や新規事業に進出すること
	地域包括ケア 地域ケア会議	高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく仕組み。「地域ケア会議」では地域包括ケアに関する地域の課題を検討する機関
は行	プラットフォーム	動かすことのできる共通の基盤（土台）
	ふるさと納税	個人住民税の一部を、納税者が選択する自治体に納められるようにする仕組み。本町では、「志免町おうえん寄附金」として、志免町にゆかりのある方、志免町を応援していただける方に寄付の支援を頂いており、寄附をいただいた方には、志免町の事業者が取扱う品物やサービスで返礼している。
	ベッドタウン	都心へ通勤する者の住宅地を中心に発達した、大都市周辺の郊外化した衛星都市
わ行	ワーク・ライフ・バランス	「仕事と生活の調和」を意味する。社会の一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。
	ワンストップサービス	1度立ち寄りだけですべて行えるようにするサービス形態のこと。本計画では、複数の部署・庁舎・機関にまたがっていた行政手続きを、一度にまとめて行える環境をさす
I	ICT	Information and Communication Technology の略で、情報通信技術のこと
K	KPI	Key Performance Indicators（重要業績評価指標）の略。目標の達成度合いを計る定量的な指標のこと
P	PDCA サイクル	Plan-Do-Check-Action の略。計画、実行、評価、改善の4段階を繰り返すことにより、業務を改善していくこと

---

志免町まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン・総合戦略

～子育て世代に選ばれるまちへ～

---

発行 : 2016年3月

志免町 経営企画課政策推進係

福岡県糟屋郡志免町志免中央一丁目1番1号

TEL : 092-935-1001

FAX : 092-935-2941

E-Mail : [seisaku@town.shime.lg.jp](mailto:seisaku@town.shime.lg.jp)

